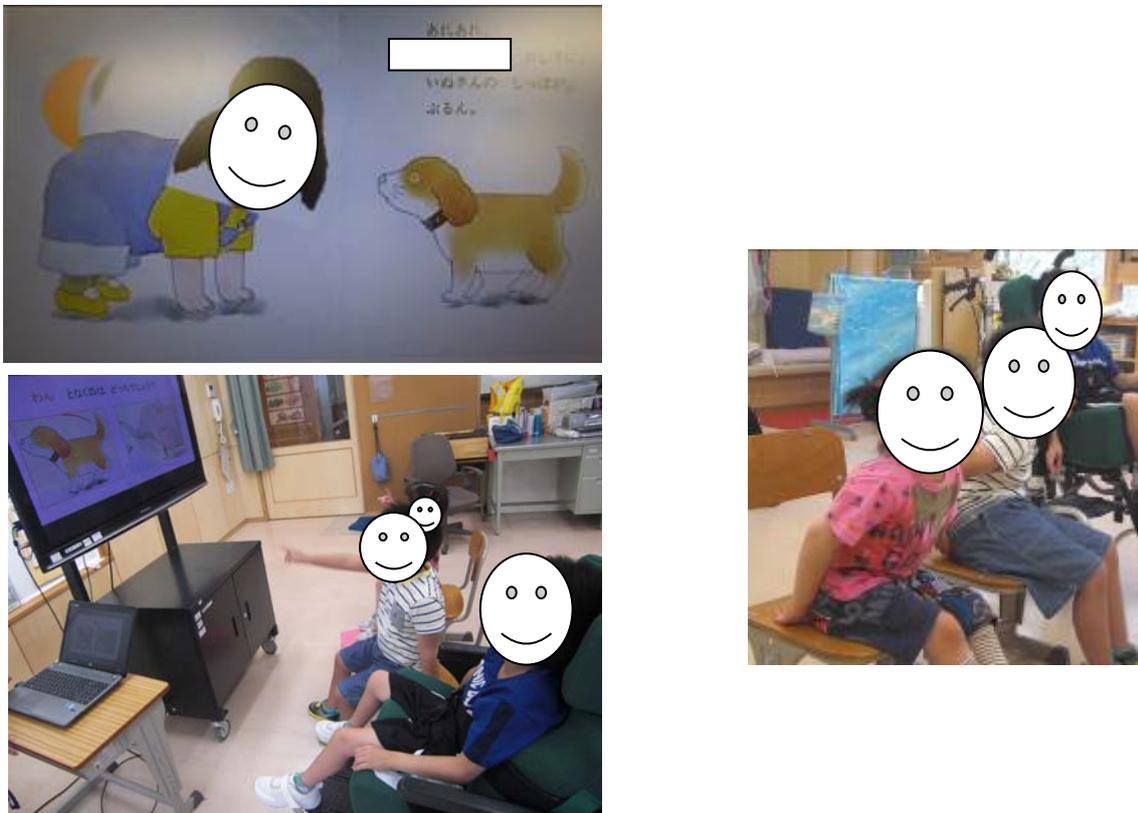


教材・教具名	「まねっこまねっこ」	教科・領域等	国語
情報提供者	小学部 3 年 4 組 氏名 長島 由香		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>本グループの国語科の学習では、語彙や発語を増やして、人とコミュニケーションをとる楽しさを味わうことを目標としています。今回の教材を使用した单元では、児童一人一人がしっかり声を出すことをねらいとしています。本教材は、「まねっこまねっこ」という絵本を使って、声を出すアニメーションと動物の鳴き声を入れたパワーポイント教材です。絵本の読み聞かせに合わせて、動物の耳やしっぽが生えてくることで、楽しく絵本を見聞きすることができます。また、児童の顔写真を主人公に重ねて物語を読み進める中で、本物の動物の鳴き声を聞いてから、鳴き声をまねる活動を設定することで、児童一人一人がしっかりと声を出すことができるようにしています。さらに、絵本を見聞きした後に、絵本に出てきた動物の鳴き声クイズをしました。鳴き声を聞いて、二種類の動物の分別をするという活動を通して、鳴き声（言葉）と目で見える物（動物のイラスト）を一致させることをねらいとしています。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	絵本「まねっこまねっこ」(くろいけん さく・え)		

教材・教具名	パネルシアター	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 6年 3組 氏名 隅原春江		
教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習で、発声を促すために活用しました。 <p>「ピクニック」の歌に合わせて、動物の鳴き声の部分で、発声するようにしました。パネルシアターで作成し、視覚的に分かりやすくし、草を自分で取り除いて、隠れている動物を探し出すといった活動も取り入れ、楽しく活動できるようにしました。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	まどからおくりもの	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 4年 4組 氏名 佐々木章也、篠原彩		

教材・教具写真 (規格：横 25cm×奥行き 10cm×高さ 40cm くらい)



1 教材・教具の説明

1) 対象：肢体不自由を伴う重複障害児童・生徒

- ・ 育てたい力：
 - ・ 写真（友達顔）を見て、認識する力
 - ・ いくつかの物の中から、指定された物を選び取る力
 - ・ 小箱を握ってつかみ、手を開いて放す力

2) 使い方：①「まどからおくりもの」（五味太郎）の読み聞かせを行う。

②「今度はみんながサンタさんになります。ここは誰のお家かな。」と家の窓を覗いて見るよう興味付けを行う。（覗くことが難しい児童には、背景の写真を見せる）

③「〇〇君の家だ。プレゼントを届けてあげよう。」と、二択（児童の実態に合わせて択数を変える）で〇〇君の写真の入ったプレゼントの小箱を選び取らせる。

④「煙突から入れるよ。」と小箱を握った手を煙突の上に持って行かせ、放して入れるようにする。

2 その他

重複児童でも握りやすいように、小さなプレゼントの箱を用意した。大好きな友達の顔なので、児童は二つの写真を見比べて、正しい方を取ろうとしていた。選ぶことが難しい児童は、プレゼントを持たせ、煙突から入れることを課題とした。中には、窓を次々と覗き、友達5人全員の分を的確に一つずつ入れることのできた児童もいた。

参考文献・Web

「まどからおくりもの」五味太郎・偕成社

教材・教具名	積み重ねられる動物	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 3年 2組 氏名 河原 周作		
教材・教具写真			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>(1) 児童の実態</p> <p>本クラス在籍児童は、どの児童も絵本に興味がある。休憩時間などもよく本を持ち出し、教師に読むことを促す。今回は「お月さまってどんなあじ？」という絵本に合わせた動物の積み木を用意して、児童が絵本とのつながりを感じながら劇遊びができるようにした。</p> <p>(2) 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本「お月さまってどんなあじ？」の読み聞きを行った後、登場する動物を児童に一つずつ振り分ける。ストーリーに合わせて、振り分けた動物の、動物積み木を持って、次々に積み重ねていく。(その際、次に積む動物を持った児童を呼び掛ける。) 児童が動物を積み重ねるのに合わせて、教師が月をどんどん上に上げていく。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物は児童が口に入れても痛まないよう、テープを巻いた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	平仮名練習プリント	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 1年 1組 氏名 砂田 麻実		

教材・教具写真 (規格A4プリント)

※1



※2



1 教材・教具の説明

- ・その日の、日にち、曜日、時間割をなぞり書きする手作りプリント。
- ・数字の順が分かる・数字が好きな児童は、書き順と矢印に従って黄色の上をかぞって書く。※1
- ・色が分かる・色が好きな児童は、矢印と赤→青→緑→オレンジの順にかぞって書く。※2

<第一段階>

教師と一緒に書く。

<第二段階>

教師が手助けしながら、補助具を使って書く。

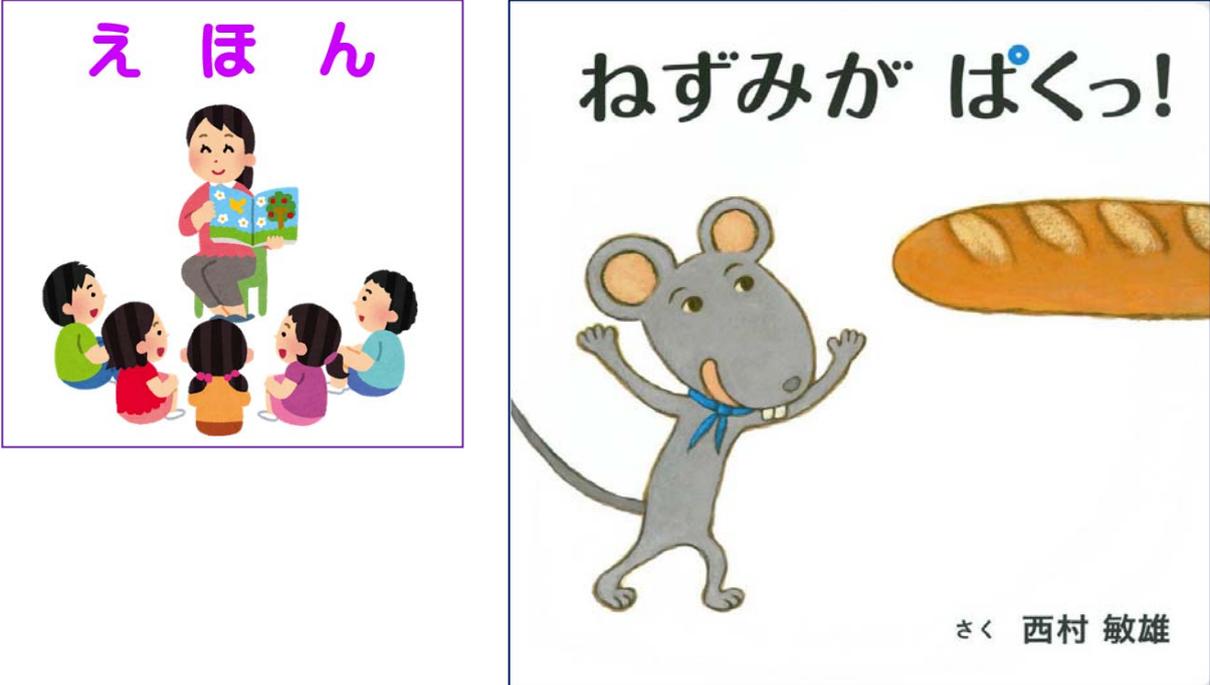
<第三段階>

補助具を使い一人で書く。

<第四段階>

鉛筆を持ち一人で書く。

参考文献・Web

教材・教具名	デジタル絵本「ねずみがぱくっ」	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 2年 3組 氏名 森下 美保		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>おなかのすいたねずみがやってきて猫のしっぽを「ぱくっ。」 猫が犬のしっぽを「ぱくっ。」 犬がぶたのしっぽを「ぱくっ。」 ぶたが牛のしっぽを「ぱくっ。」と噛む・・・という単純なストーリーです。 単純なストーリーなので覚えやすく、「ぱくっ。」と噛み付くたびに動物たちの鳴き声が聞こえます。クリックすると、絵本がめくられるように画面が変わります。</p>			
<p>2 その他</p>			
参考文献・Web	西村敏雄作：「ねずみがぱくっ」		

教材・教具名	「あそびにきてください」	教科・領域等	国語・算数
情報提供者	小学部 2年 6組 氏名 中岡美穂		

教材・教具写真 (色画用紙の大きさ)



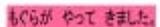
1 教材・教具の説明

「あそびにきてください」という絵本の中に登場するドアの模型を作成し読み聞かせの後に使用した。ドアをノックすると、中から色々な動物が登場するお話だったので、お話の内容を振り返るとともに、絵本に出てくる動作や言葉の模倣活動に取り組むことができる。また、ドアの色が周りとは違うことを意識して、取っ手部分を自分で引っ張って開けることや、ドアの形や大きさの違いによって出てくる動物が違うことに気づくことを通して、「身近にあるものを見分けたり、分類したり、数えたりすることができる」という算数科のねらいとしているにも迫れると考えた。

実際に使用した際には、どの児童も意欲的に模倣活動に取り組もうとし、「トントントン、こんにちは」と自分からせりふを言ったり、ノックやおじぎ等の身振りサインをしたりすることができた。出てきた動物のまねをする児童もいた。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	絵本「すてきなぼうしやさん」 のパワーポイント教材	教科・領域等	国語
情報提供者	小学部 3年 1組 氏名 林 美香子		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
① 	② 	③ 	④ 
⑤ 	⑥ 	…⑪ 	⑫ 
⑬ 	⑭ 	⑲ 
⑳ 	㉕ 	㉖ 	㉗ 
1 教材・教具の説明			
1) 教材を作るに至った経緯			
<p>絵本の読み聞かせのために作成した教材です。基本的には、絵本の読み聞かせを行う場合は、絵本そのものの魅力や本をめくることへの期待感を大切にしたいので、このような加工をすることはありませんが、この絵本を児童に提示したとき、この絵本の魅力であり、テーマである「帽子をかぶる」という場面が伝わりにくいと感じたので、最終的には、絵本に戻るということを念頭におきながら、導入的に使用しようと作成しました。P Pの枚数は全部で27枚です。</p>			
2) 教材のポイント			
<p>上記の理由から、「帽子」に注目できるように、帽子の部分の部分を白抜きにしたページ(写真⑤⑬⑵)を作成し、本来の絵のページと組み合わせて、帽子をかぶったような動きを作り帽子を浮かび上がらせました。その際効果音や絵の揺れなどのアニメーション効果、歌(絵本に設定してある歌を歌うための伴奏)なども入れ込み、注目度を高めるようにしています。また、新しい登場人物が出てくる前には、文章だけのページ(写真③⑪⑲)を差し込んでいます。文字が読める児童が読み手として活動できるようにという思いと文字が読めない児童にも新しい登場人物が出てくるサインになるようにという考えによるものです。</p>			
2 その他			
<p>今回取り上げた絵本は、子どもたちが、帽子屋さんになって好きな人に帽子を選んであげるといふ貴重な活動を含んだごっこ遊びへの展開を導いた優れた絵本でした。ただ、はっきりした色遣いや輪郭がまだ必要な子どもたちにとって、分かりづらい部分もあったので、それをP P教材にして再注目させることで、絵本の魅力が多少なりとも伝わったのではないかと考えています。</p>			
参考文献・Web	「すてきなぼうしやさん」文/ますだゆうこ 絵/市居みか(そうえん社)		

教材・教具名	国語プリント (カタカナ)	教科・領域等	国語
--------	---------------	--------	----

情報提供者	中学部 2 年 3 組 氏名 鈴木 京子
-------	----------------------

教材・教具写真	(規格：縦 $\text{cm} \times$ 横 $\text{cm} \times$ 高さ cm)
ア	イ
文字入りプリント	文字の上にマッピングさせていく
ウ	エ
文字なしプリントに置いていく	プリントに文字を書いていく

1 教材・教具の説明

A



B



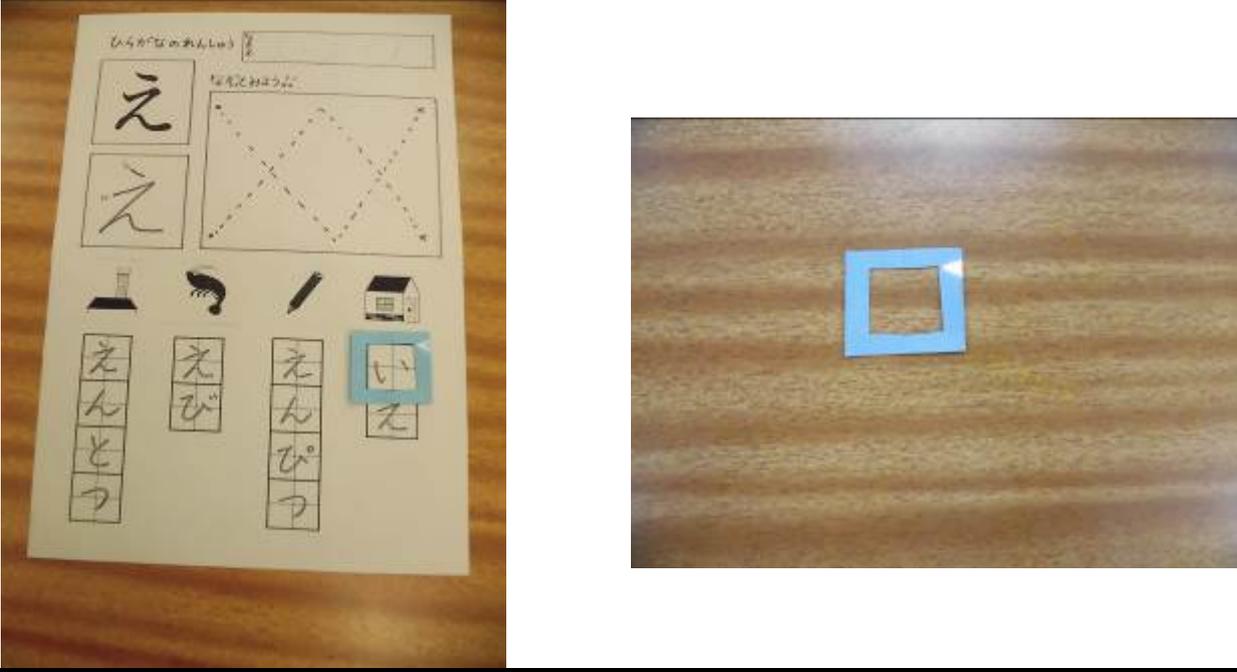
C



D



- 1・Aのプリントの上にBのようにカタカナカードをマッピングさせていく。
 - 2・マッピングができるようになったらCのように文字のないプリントに置いていく。
 - 3・2ができたら、Aの文字付きプリントになぞり書きをする。
 - 4・3ができるようになったら、Dのように文字なしプリントに書いていく。
- ★このパターンを繰り返し行ううちに、覚えて書くことができるようになる。

教材・教具名	枠の中に文字を書くための支援	教科・領域等	国語
情報提供者	中部 1年 4組 氏名 徳山 幸		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○枠の中に文字を書くことが難しい生徒のために制作しました。</p> <p>○枠にあてはめてその中に文字を書くよう促します。</p>			
<p>2 その他</p> <p>この教具を使うことによって、これまで下書きだけでは枠の中に文字を書くことができなかった生徒が枠の中に丁寧な文字を書けるようになりました。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	桃太郎になりきろう	教科・領域等	国語
情報提供者	中学部 1年 8組 氏名 平田倫香		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>国語科で『桃太郎』を取り上げる際、使用しました。実態に合った絵本や紙芝居が校内になかったため、普通紙とクリアファイルで簡易的な紙芝居を作りました。授業の始めは導入としてこの紙芝居を読み聞かせます。袋の中は、ゴルフボールを不織布で包んだ「きびだんご」です。鈴やはっきりした色のリボンが聴覚と視覚を刺激します。重みのあるゴルフボールを包んだことで、しっかり自身の手で持つということを意識させています。敢えて質素なビニール袋を用いたのは、ビニール袋そのものを好む生徒がいることと、持ったときに発生する音の効果を狙っていることが理由に挙げられます。「桃太郎」役になった生徒が袋を持ち、「犬」「猿」「雉」役の生徒に「きびだんご」を手渡します。きびだんごの受け渡しの前後には、タンバリンを叩きながら歌を歌って活動を促しています。</p> <p>2 その他</p> <p>音楽が好きな生徒が多いため、歌を取り入れたことの効果は絶大でした。自分の番ではない生徒も歌を聞きながら手拍子したり体を動かしたりしています。また、物を授受する活動を入れることで「きびだんごください」「どうぞ」「ありがとう」などのコミュニケーションを取る場面が生まれ、生徒の自発的な発声や動きが引き出せつつあります。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	直線シート	教科・領域等	国語
情報提供者	中学部 2年 7組 氏名 小茂田 光		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>鉛筆やペンを使用した運筆の練習に活用しています。</p> <p>筆先がぴったりはまる幅をとり、焦点を定めやすくするために色テープを貼っています。</p> <p>筆記が困難な生徒に対して、鉛筆やペンを握り続けること・対象物に注目しながら運筆を行うことを目標として作りました。</p>			
<p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	絵本	教科・領域等	国語
--------	----	--------	----

情報提供者 中学部 1年 2組 氏名 瀬川 知紘

教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

- 絵本を読むだけでなく、切り抜いた台詞の部分を生徒にマッチングをさせながら貼らせる。
- 読み聞かせだけでは、すぐに飽きてしまう生徒のために作成しました。
- 生徒本人にマッチングをさせることで、飽きずに最後まで取り組むことができました。

2 その他

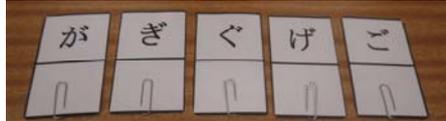
参考文献・Web

教材・教具名	ローマ字	教科・領域等	国語
--------	------	--------	----

情報提供者 中学部 3年 3組 氏名 久保 祐二

教材・教具写真

・平仮名カード



・ローマ字カード



・平仮名カードとローマ字カードを組み合わせます。



・組み合わせたカードは対応表の上に乗せていきます。

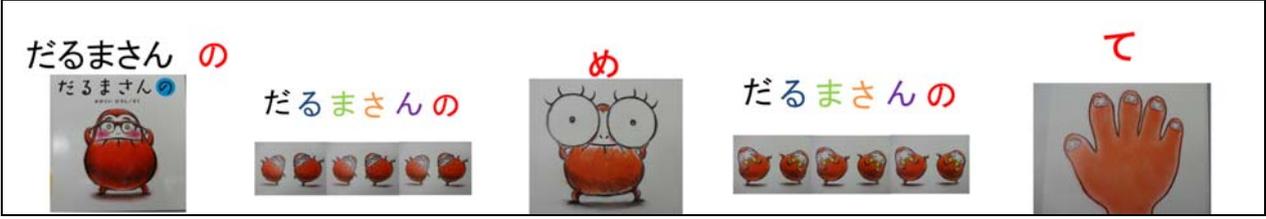


1 教材・教具の説明

- ローマ字の濁音を覚えるために制作しました。
- ローマ字カードを平仮名カードに組み合わせていきます。
- 平仮名カードにはクリップが付いているので、ずれないようにローマ字カードを留めることができます。
- 全てのカード組み合わせた後に、対応表の上に置いていくことで、間違えていないか自分で確認することができます。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	「だるまさんの」絵本・PP	教科・領域等	国語
情報提供者	中学部 3年 6組 氏名 末兼 雪恵		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm) パワーポイント教材「11枚」		
			
			
			
1 教材・教具の説明	<p>○ 生徒の課題別に「絵本の読み聞かせ」、「平仮名読み」、「文の音読」などの学習に使用しました。</p> <p>○ 本の絵本が小さく見えにくいので、パワーポイントを使用し、大型 TV で見られるようにしています。</p> <p>○ 一文字ずつ読むので、字の色を変えて読みやすくしました。</p> <p>○ 取組の中で、スムーズに読めたり、感情を込めながら読めたりするように、スライドやアニメーションの出方や間を考慮しました。</p>		
2 その他	<p>○ 字間が空きすぎて読みにくさも出てきました。生徒によって、授業ごとに変更していくことも必要です。</p> <p>○ 大型 TV 使用なので、目の悪い生徒でもよく見えて興味関心をもてていました。</p>		
参考文献・Web	かがくい ひろし作 「だるまさんの」		

教材・教具名	形容詞キューブパズル	教科・領域等	国語
情報提供者	高等部 2年 7組 氏名 坂井 慎一		
教材・教具写真 (規格: 縦 7cm×横 14cm×高さ 7cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>2つの立方体(キューブ)の絵を合わせて、対になる形容詞(12語)を覚えていく。絵を見ることによって、視覚的にも形容詞の意味のイメージがつかみやすい。</p> <p>使い方として、まず絵を合わせることを行わせ、次にそれぞれの形容詞を読ませる。その他、絵のみ、文字のみなどのキューブを作って、覚えられたかどうか確認に使ってもよい。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	世界の宗教	教科・領域等	社会科
情報提供者	高等部 2 年 A・B 組 氏名 大林 君江		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
・パワーポイント資料 (ページの一部分)			
 			
 			
・プリント2枚 (A4 2枚、資料プリントとまとめプリント)			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>教材はパワーポイントと資料プリントとまとめのテストプリント。パワーポイントにはビデオ教材も貼り付けてある。まとめテストプリントは授業の最後に確認テストをするためのもの。</p> <p>イスラム国の問題が世界的な不安材料となった時期に、宗教に対する正しい知識を培うために投げ入れ教材として世界の宗教を世界三大宗教中心に学習した。</p>			
<p>2 その他</p> <p>興味を持ってニュースを見ている生徒もいて、イスラム国による日本人質問題はほとんどの生徒が知っていたが、イスラム教についての正しい知識はもっていなかった。世界三大宗教に関しても常識としての知識も付いていない生徒が多くいたので発表や質問も多く、意欲的に学習することができた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	おべんとうをつくろう	教科・領域等	算数科 (おべんとうなあに)
情報提供者	小学部 6年 2組 氏名 浪越 健太		
教材・教具写真	(規格：縦 20 cm×横 30 cm×高さ 15 cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1対1対応とマッチングが学習できるよう設定しました。</p> <p>初めに、目の前に出されたおにぎりをカップの中に入れていきます。1つ1つのカップに、おにぎりを入れたら (1対1対応)、右のボックスにカップごと移動します。右のボックスに縦1列に入れることができたなら、次のトマト (もしくは卵焼き) を出し、繰り返していきます。おにぎり、トマト、卵焼きを全て右のボックスに移動することができたなら、お弁当の完成です。</p> <p>カップの大きさは、1つのカップに2つの物が入らないようにしています。</p> <p>移動するときに、どこに何を入れるか分かるよう具体物の写真を貼っています。(マッチング)</p> <p>右のボックスの大きさも、カップが3つ以上入らないようにしています。</p> <p>2 その他</p> <p>初めて見せたときに、一度だけ実演して見せ、その後は児童にらせてみました。一度実演しただけで、お弁当を完成することができました。完成後、褒めると、手をたたいて喜んでいる姿を見て、作ってみて良かったと思いました。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	はてなボックス	教科・領域等	算数科
情報提供者	小学部 3年 3組 氏名 阿津地 一瑛		

教材・教具写真



スライド式のふたが付いているので、児童の力に合わせて、中身の取り出しやすさを調節できます。

中には、鈴や音が出るおもちゃなどを入れて使いました。



1 教材・教具の説明

(1) 対象：肢体不自由を伴う重複障害児童4名（小学部3年3組3名＋5組1名）。

実態：活動に関心をもちにくい、興味・関心が偏っている、関心があっても自分で手などを動かすことが難しい、全盲で活動する場合には配慮が必要である、といったような児童。

(2) 使い方

- ・ はてなボックスの中に、具体物（児童一人一人の興味・関心に合わせた物）を入れて、それらを取り出すといった活動を行いました。具体物にはひもを付けておき、児童がひもを握り続けたり、たぐり寄せたりすることで、自分の力で具体物を取り出せるようにしました。また、取り出す前には、はてなボックスを振って中に入っている具体物の音を聞かせ、何が出てくるのか、期待感をもたせるようにしました。授業では、児童が、ひもを引っ張ると具体物が出てくるということが分かり、自分で手を動かして具体物を取り出すことができる、という目標をもって活動を行いました。

2 その他

- ・ はてなボックスは、100円ショップで買った「パスタを入れる筒」に、赤い不織布を巻いて作りました。中身が見えてしまわないように、口の部分にはビニールロープを付けました。
- ・ この教材を使ってみて、ある児童は、活動を重ねるごとに、はてなボックスを見るだけで「この中には何かが入っている。」ということが分かっている様子で、声を上げて、はてなボックスに手を伸ばす姿を見られるようになりました。また、活動に関心をもちにくく、動きも微細な児童も、はてなボックスに視線を向けたり、取り出す時には、表情を変え、自分から手を動かしたりする姿も見られました。

参考文献・Web

教材・教具名	はさんでっ手	教科・領域等	算数、自立活動、遊びの指導ほか
情報提供者	小学部 1 年 4 組 氏名 山下 正貴		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

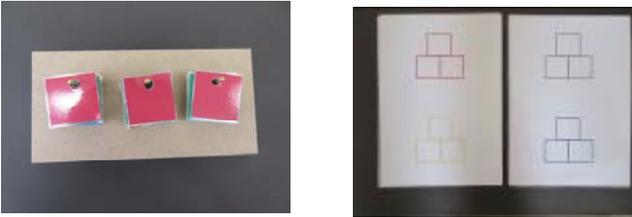
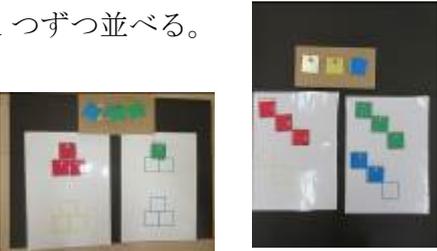
- ダンボール紙で手形を作り、指先にそれぞれ異なった色の丸印が付けられている。
- 算数では、丸の色と同じ色のクリップを指の先に挟むことで色のマッチングの学習をする。
- 自立活動としては、クリップを開いて指先目指してもっていき挟むことで、指先の巧緻性、目と手の協応動作を高める。
- 遊びの指導、あるいは音楽では、「おはなしゆびさん」の歌を歌い掛けながらクリップを順番に挟んで見せる、児童とうたを歌いながら順番に挟んで楽しむ。

2 その他

- ダンボールの指先に色の丸印ではなく、数字を書いて順序数の学習用の教材とする。
- クリップの形状や開くのに必要な力を児童の実態に合わせて自立活動の教材とする。

参考文献・Web

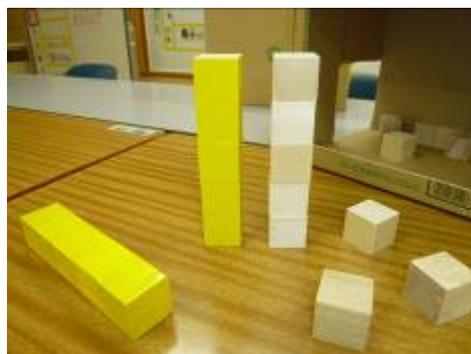
教材・教具名		教科・領域等	算 数
情報提供者	小学部 1年 5組 氏名 松岡 誠司		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
1 教材・教具の説明			
<ul style="list-style-type: none">・教師が提示したおはじきをおはじきと同じ色の入れ口に入れる。・入れ口の角度によっては、手先の角度を変える必要があり巧緻性を高めることができる。・入れ物が透明なので自分が入れたおはじきが確実に入っていることを確認できる。			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	ならべよう	教科・領域等	数学
情報提供者	中学部 2 年 5 組 氏名 宮野 晃子		
教材・教具写真	(規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>ねらい</p> <p>(1) 3個のものを様々に並べたり整理したりできる。</p> <p>(2) 3個の数を捉えることができる。</p> <p>① 板に3本のくぎを立て、3枚1組の4色の色カードをさす。カードは操作しやすいよう少し厚めの紙にラミネートした色紙を貼る。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p>② 様々な並べ方のプリントを用意し、色ごとに1つずつ並べる。全部並べた後は、また元の位置に戻す。</p> <p style="text-align: right;">  </p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	両手取りボックス	教科・領域等	算数・数学
--------	----------	--------	-------

情報提供者	中学部 1年 6組 氏名 藤田 由恵
-------	--------------------

教材・教具写真 (規格:縦 23cm×横 30cm×高さ 22cm)



1 教材・教具の説明

- 数学の授業の導入ウォーミングアップとしてやらせている。
- 数字を提示し、その数のブロックを両手で探らせ箱の上に出させて一緒に数える。
- 使うブロックは3センチ角。紙クラフトテープで5個貼り付け、5のかたまりを作る。
- 視覚をさえぎる箱は、A4用紙の段ボール箱に直径10cmくらいの穴をあけ、両手が入れられるようにする。
- 手でブロックを探っている時の子どもの思考が指導者から見えるようにするため、箱の開口部を指導者側に向けて使う。

2 その他

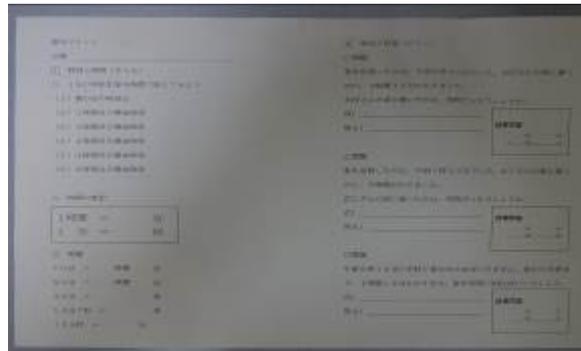
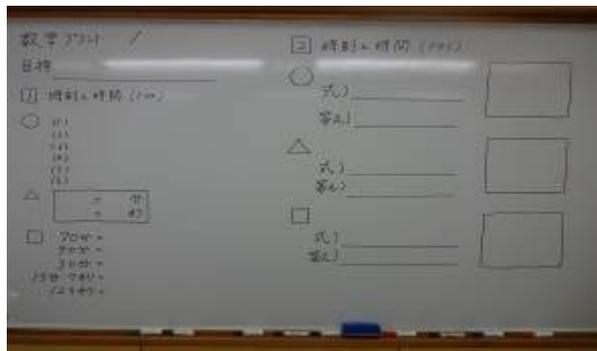
- 材料費…キューブ(100円ショップで買えます)、段ボール箱(コピー紙用)
黄クラフトテープ、画用紙
- 算数・数学の勉強会(月1回)で大洲小の倉澤先生に教えていただき作成しました。

参考文献・Web

教材・教具名	金額・硬貨カード	教科・領域等	数学科
情報提供者	中学部 3年 2組 氏名 松平 知恵		
教材・教具写真 (規格:縦 5cm×横 8cm×高さ 0cm)			
			
表		裏	
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>課題に応じてカードの裏表を使い分けながら、両替学習に取り組みました。すぐに答えを確認できることが、このカードの大きな利点だと考えます。間違えたとしても瞬時正答を確認することで、成功体験で学習を終えることができました。</p> <p>硬貨の下に「ごひゃくえん」などのように、明記しておくことで、「500円＝ごひゃくえん」と金額の読み方練習もすることができました。</p>			
<p>2 その他</p>			
参考文献・Web	特になし。		

教材・教具名	数学の学習プリント	教科・領域等	数学
情報提供者	高等部1年A組 氏名 酒井 敏郎		

教材・教具写真 (規格：縦26cm×横36cm)



1 教材・教具の説明

プリント作成で工夫したことは、数学プリントをそのままホワイトボードに見立てることができるように作成したことである。つまり、学習プリントとホワイトボードが、全く同じになるように作成した。また、プリントの問題の項目を「○、△、□」にすることで、数学プリントやホワイトボードの「どこを見れば良いのか」「どの部分を学習しているのか」が分かるようにした。

このことで、聞き逃しによる「先生、今どこ（の問題）ですか？」という質問が減ったり、生徒が学習の終わる見通しをもったり、「△の問題を読みましょう」と端的に指示が出せるようになったりした。

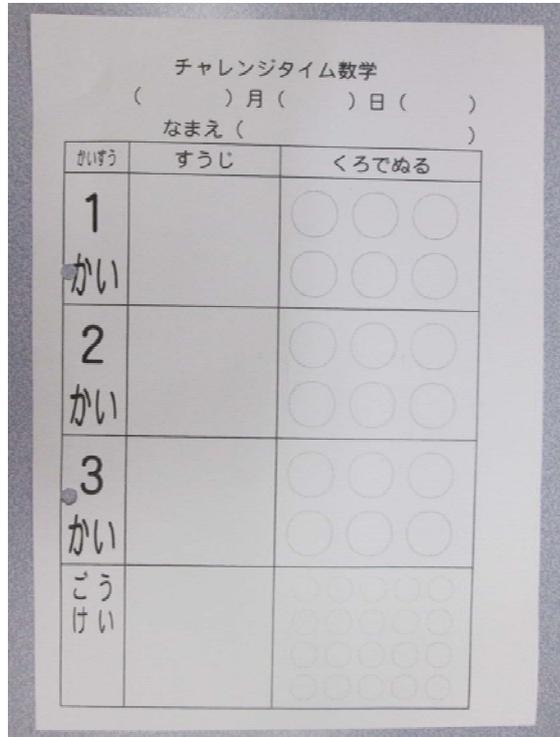
2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	ジャンボサイコロ	教科・領域等	数学
--------	----------	--------	----

情報提供者	高等部 1年 7組 氏名 道田篤男 梶本俊志 田中麻美
-------	-----------------------------

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



1 教材・教具の説明

数学の授業の一番初めに、サイコロでの学習をしています。

- ①サイコロをふる
- ②出た目を用紙に書く
- ③3回繰り返し、その合計を一番下を書く

サイコロを生徒に投げさせると、より盛り上がります。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	数を数えよう	教科・領域等	算数・数学
情報提供者	高等部 2年 3組 氏名 松本政則		
<p>プリント</p> <p>① A4サイズ 「一人で数を数えることができるようになるための学習プリント」</p> <p>① A3サイズ 「3桁の数 正しく読むことができるようになるための学習プリント」</p> <p>② A3サイズ 「4桁の数 正しく読むことができるようになるための学習プリント」</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>① 「一人で数を数えることができるようになるための自学自習プリント」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10まで数えることができる生徒を対象として。10以上の数の数え方を理解させるためのプリントです。 ○ 10ずつまとめる考え方を自然と身につけさせるために、『ヒントの表示をだんだんと減らす』『数を1段ずつ増やす』ように作成しました。 ○ このプリントを利用することで、「1, 2, 3, …、1 2 1, 1 2 2, 1 2 3」と数字をすべて書いて数えていた生徒が「1, 2, 3, …、1 0」「1, 2, 3, …、2 0」と10ずつまとめて数える考え方が身につけてきました。また、60以上の数を数えようとしなかった（数えても答えが間違っていた）生徒が「1 0、2 0、3 0、…」と書いて、正しく数えるようになりました。 <p>② 「3桁の数 正しく読むことができるようになるための自学自習プリント」と「4桁の数 正しく読むことができるようになるための自学自習プリント」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 答えの「読み方」の部分を隠して生徒に取り組ませた後、「読み方」の部分を読ませて答え合わせをさせます。 ○ 生徒の習熟度に合わせて、ヒントの表示を少なくしたプリントを使用します。 <p>3種類のプリントは乱数を利用しています。キーを1つ押すだけで異なる数字のプリントを作成し、プリントアウトすることができます。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	時計の模型	教科・領域等	数学
情報提供者	高等部 2年 4組	氏名	宮本 ゆかり
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>時間の読み方を学習するため、生徒一人一人が作った模型</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人が手にとって時間を確認することができる。 ○ 二つの時計を並べて使用することで、時間の経過や計算をする際、視覚的にとらえることができる。 ○ 数学のファイルに入れて自分たちで保管し、必要に応じて使用することができる。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が紙を切り取り、貼って作ったことで、愛着をもって活用することができた。 ・1学期は～時～分という時間の読み取りが正確にできるように使用したが、2学期はあと何分で～時になる、という時間の経過や見通しをもたせるために活用していきたい。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	おなかの中には	教科・領域等	音楽
情報提供者	小学部 4年 3組 氏名 佐藤 友美		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

1) ねらい どの児童も興味関心をもって音楽に参加することができるように、視覚的にわかりやすく児童にとって身近なおにぎりを使った教材を作成しました。

2) 使い方

- ① 写真のように、パネルにおにぎりのキャラクターと具材を貼っておく。
- ② 何の具材があるかを児童に尋ね、具材への注目を促す。
- ③ 児童に見えないように具材を一つ選んでおにぎりのキャラクターに貼り、のりを被せて隠す。(残った具材はポケット等に入れて見えないようにする。)
- ④ のりの下に隠れている具材を当てるクイズをしたい人を訪ね、クイズをする人を決める。
- ⑤ 全員で「おなかの中には何が入ってる。」という歌を歌う。
- ⑥ 児童の近くで具材のカードを見せ、その中から具材を選ぶ(児童の実態によって2択や3択にしたり、挙手や具材の名前を言う等、選択の仕方を変えたりする。)
- ⑦ 全員の前で児童や教師がのりをはがし、答え合わせをする。
- ⑧ クイズに答える人を交代する。

2 その他

「おなかの中には何が入ってる。」という決まったフレーズの繰り返しやクイズに答えることの楽しさがあったことで、児童がクイズの答えを期待しながらリズムよく歌ったり自分から立ち上がって具材を選ぼうとしたりする様子が見られるようになりました。

参考文献・Web

ケロポンズの出し物・シアターおまかせブック/ケロポンズ著/ひかりのくに

教材・教具名	楽器	教科・領域等	音楽科
情報提供者	高等部 3年 12・13・14 組 氏名 岡畑 浩		
教材・教具写真 (規格: 縦 cm×横 cm×高さ cm)			
 <p>The photograph shows a blue tube-like instrument with a red cap (1), a yellow and red component (2), and a blue tube with a red and yellow component (3). A blue box with chopsticks is also visible.</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>① 握りやすいように滑り止めシートを張っている。</p> <p>② どこを押しても手を放せば音が鳴る。</p> <p>③ 手のひらで押せば複数の音を出すことができる。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ランタン	教科・領域等	図画工作
情報提供者	小学部 5年 3組 氏名 石川 啓介		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○準備物 LED ライト 人数分 単三電池 3本×人数分 A4 クリアファイル 2分の1枚×人数分 アクリル絵の具 (クリアファイルにも付く絵の具)</p> <p>○教材の説明 野外活動では暗い道を歩く (キャンプファイヤーの後など) ことがあります。カンテラなどをよく使いますが、風が吹いたりすると使えないなど天候に大きく左右されるため、このようなものを準備しました。LED を使用するため体育館など屋内でも大丈夫です。クリアファイルのざらざら面にアクリル絵の具で線や点をつけるだけで完成という簡単にできるものなので、児童が作ったものでも OK です。</p> <p>○使ってみて 野外活動でキャンプファイヤーの後、宿泊等まで帰る道沿いに置いて使用しました。(今回は児童が作ったもので道沿いに 20 個ほど置きました。) LED のほどよい明るさで、ファイヤーの後の演出にはあっていたと思います。18 個のランタンが並ぶととてもきれいでした。</p>			
参考文献・Web	育成学級研究グループ (京都)		

教材・教具名	蛙ジャンパー	教科・領域等	体育科、自立活動
情報提供者	小学部 4年 1組 氏名 岡本 瑞穂 吉野 功祐		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

両足跳び・垂直跳びの前段階のトレーニングとして、「腕を振り伸ばす」「脚の屈曲と伸展を意図的にしくみ、跳ぶ力へとつなげる」ためのトレーニング用具として考案した。

従来、非日常的な動作である両足跳びを意図的に仕組む為に、「手で触りたいものが上部にあり、児童の興味をひくものである」ことが重要で、目標物として目で捉えて、分かりやすい色のカラーボールを使用した。

そして、様々な児童の身長や跳躍力に合わせて、突っ張り棒を使用し、壁設置や紐掛けなど場所を選ばず簡単に素早く設置し、個人に合わせて高さを自由に変えることができるようにした。

垂直跳びは、常設で片面に向きを決めて跳び、跳び方に工夫ができにくく、足や手の付き方も練習が必要である。

屈曲・伸展により跳躍力が生まれることから、蛙のようにケンステップ内にしゃがむ位置から跳び上がるようにした。手の位置のガイドはカラーボールとし、児童の実態に合わせてケンステップやカラーボールの位置を変えるようにする。

目標は自由にレベルアップでき、モチベーションも上がりやすいことが特徴。

改善点としては、目標物への目線の移動と体の動きの連動が、慣れるまで時間が掛かるので、遊びながら学ぶ、学びながら繰り返し試し伸びるというように、事前の指導と注意をしながら、段階的に使用することが必要である。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	フラッグボール	教科・領域等	体育科
--------	---------	--------	-----

情報提供者	小学部 5年 1組 氏名 桂 学 ・ 小島 浩子 ・ 松田 睦美
-------	----------------------------------

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

○本学級児童の課題

本学級児童は、身体を動かすことが好きな児童が多く、ひかりの広場でボールを下投げで投げて遊ぶことも多かった。しかし、4月に行った新体力測定ソフトボールでは、肘を引いて投げたり、ボールを離したりすることが難しい児童が多く見られた。

○ねらい

肘を引いてボールを投げることができるようになる。
 ボールを離すことができるようになる。

○使用してみて

ボールを肩に当てるよう伝えることで、自然と肘を引くことができるようになった。また、「とん、しゅー。」の掛け声とともに投げるよう指導することで、ボールを手から離すことが難しかった児童もボールを離すことができるようになった。

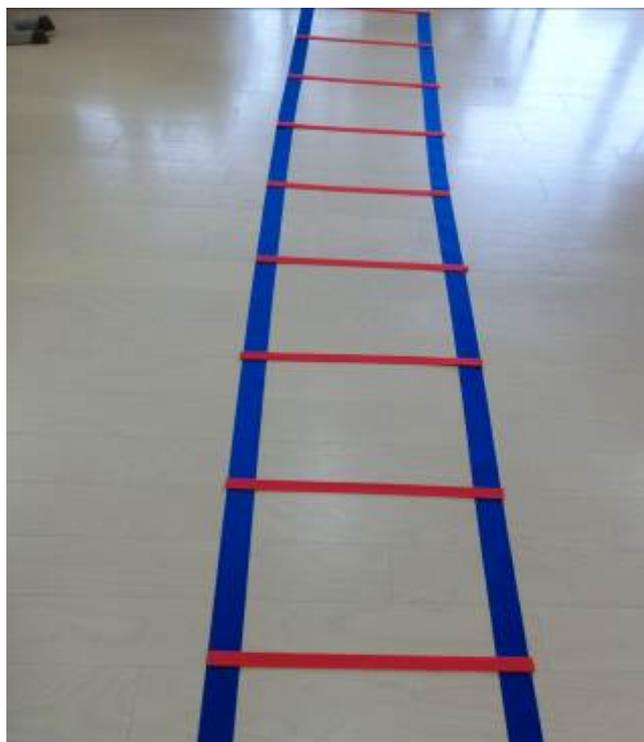
2 その他

比治山小学校で取り組まれた教材を参考にしています。

参考文献・Web	
----------	--

教材・教具名	ラダー	教科・領域等	保健体育 体づくり
情報提供者	中学部 2年 4組 氏名 菊一 智恵		

教材・教具写真 (規格：縦300cm×横50cm×高さ0cm)



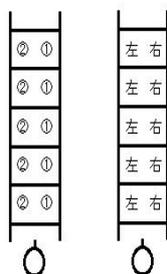
1 教材・教具の説明

はしごのマスの中を、決められたステップを踏んでいく。

いかに早く、間違えることなくステップをするかで、瞬発力や敏捷性を鍛えるトレーニング。

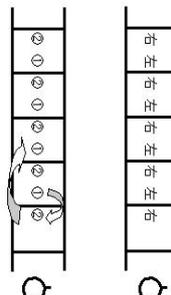
(例)

1、ももあげ



- <やり方>
- 1) 正面を向く
 - 2) 1マス2歩
 - 3) ①・②の順番で右・左とステップ
 - 4) 足元を見ずに前を見る
 - 5) ももを高く上げ、手をきちんと振る
 - 6) リラックスする事
 - 7) 早い動作は慣れたから、最初はゆっくりと正しい動作
 - 8) コーチが拍手でリズムをとるとやりやすいようです
 - 9) 同様に左足からも

3、サイドステップ



- <やり方>
- 1) 横向き
 - 2) 1マス1歩
 - 3) 振り子のようにバランスをとって
 - 4) 左で進み、右で戻る
 - 5) 反対を向き右足先行で同様に

2 その他

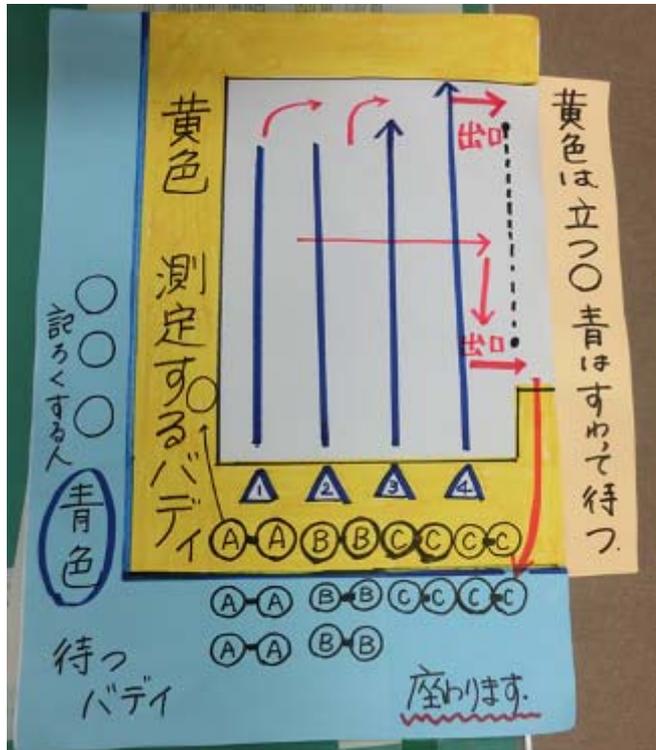
参考文献・Web

教材・教具名	商品カード 模造貨幣、支払いトレイ	教科・領域等	数学
情報提供者	高等部 1年 3組 氏名 齋藤 太		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 教師がホワイトボードに貼った商品カードを見て、生徒は持っている模造貨幣の中から代金を支払いトレイに入れる。 ※ 複数の商品を買ったときに、暗算で計算をして支払う。 ※ ちょうどのお金がないときは、多めに出してお釣りをもらう。 ※ 小銭を減らす支払い方を練習する。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 暗算での計算が難しい生徒がいたので、その場合は一つずつ支払うことを考えるように指導した。 ※ お金を数えることは素早くできても、お釣りの計算が難しい生徒がいた。 ※ 小銭を減らす支払い方が、すでに身に付いている生徒がいて、家庭での経験が大きいと感じた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	泳力測定 活動場所説明図	教科・領域等	体育・水泳
--------	--------------	--------	-------

情報提供者	高等部 2年 2組 氏名 久下 佳子
-------	--------------------

教材・教具写真 (規格：縦 55 cm× 横 45 cm×高さ cm)



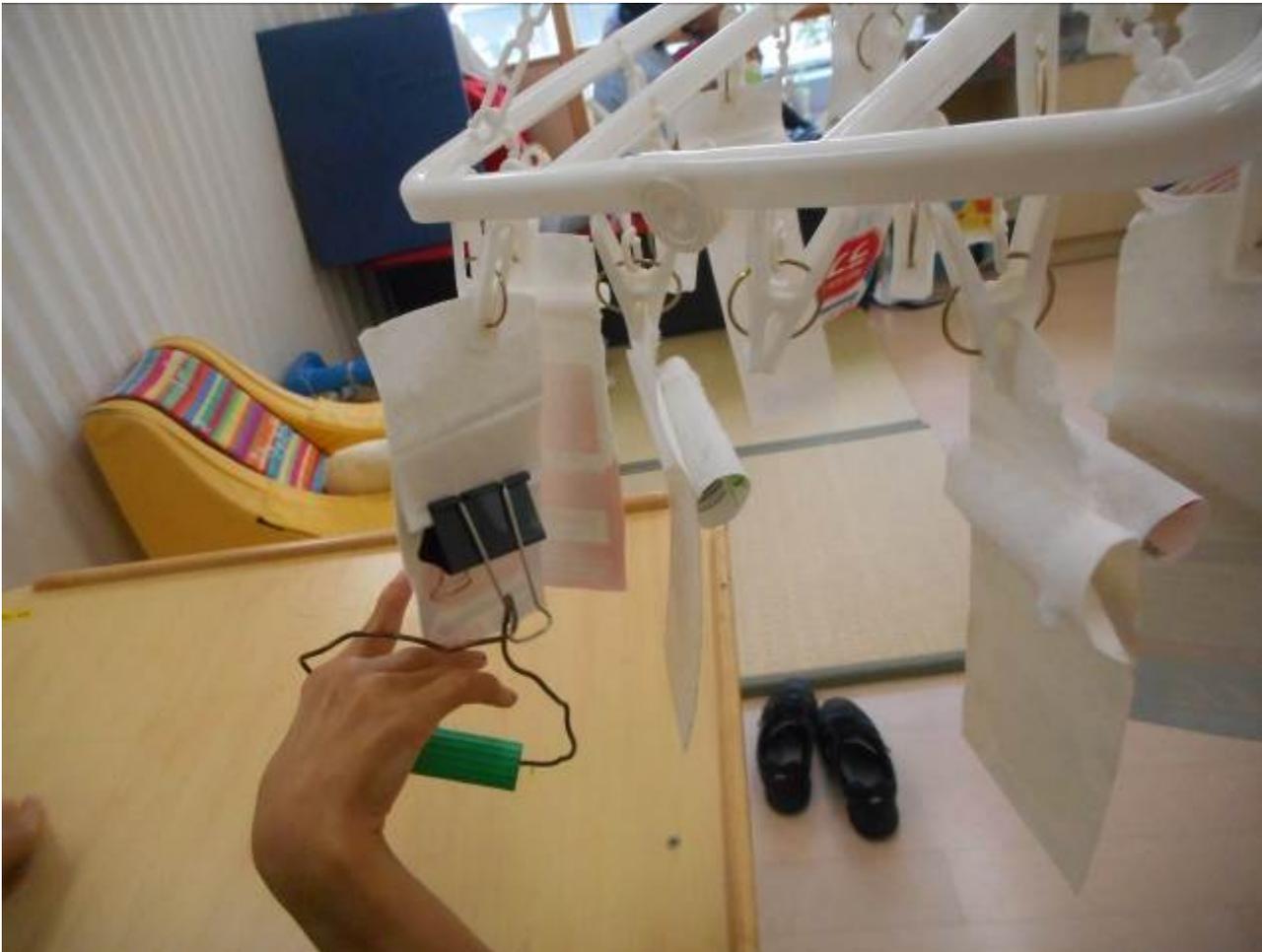
1 教材・教具の説明

Ⅲ類型は、学校生活において、ほぼ自立した段階の生徒集団であるため、指示に従い主体的に活動することが期待できる。また、伝達理解がある程度できるので一斉指導が可能な類型である。しかし、本学年Ⅲ類型は、自閉症スペクトラムの生徒の割合が比較的高く、精神障害や ADHD の生徒も在籍しているため、活動の見通しや理解を図るために視覚的支援や聴覚的支援が必要である。水泳の授業では、まず泳力測定を、実施し個々の泳力の把握を行った。測定方法は、二人一組（バディ）でお互いを測定し合う方法で実施した。測定に当たり、自分達のバディが待機する場所、測定する場所をプールサイドの床の色で指定し、それを図にして示した。また、測定時の約束も書いて示し視覚支援をした。測定前に、プールサイドに図のように座らせ、自分が図のどの位置にいるかを確認した後、実際の床の色と図の色を照らせ合わせ、それぞれの活動場所を確認した。

2 その他

言葉では、複雑な内容だが、図にすることで理解が深まり、スムーズな測定をすることができた。

参考文献・Web	
----------	--

教材・教具名	ラミネート補助具	教科・領域等	紙工（作業学習）
情報提供者	高等部 2 年 9 組 氏名 阿 部 賀 一		
教材・教具写真	（規格：縦 cm×横 cm×高さ cm）		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>紙工の重要な行程の一つ、ラミネートはがし。水につけ込んだ牛乳パックのラミネートをはがして、紙すきの原料にします。手指の操作に支援が必要な生徒には、担任が最初の一部をはがして、補助具を引っ張らせていましたが、作業の能率を上げるためにまとめて洗濯物干しに吊しました。</p> <p>連続して活動が続けることができるだけでなく、吊してあるラミネートを見て、作業に見通しをもつこともできます。その日の調子によって、枚数、吊す高さ、支援法を調整しています。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ブレスレット作りシート	教科・領域等	作業学習 I (クラフト)
情報提供者	高等部 2年 1組 氏名 大塚 佳奈		
教材・教具写真 (規格:A4 横)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>高等部2・3年生の作業学習 I (クラフト) では、文化祭の製品作りに取り組んでいます。その製品のひとつとして、小さなゴムを使ってブレスレットを作っています。</p> <p>ブレスレットにバリエーションを加えるために、ビーズを入れて作ることにしました。その際、ビーズを加える場所を明確にするために、シートを作りました。</p> <p>左上から○印に合わせてゴムを置いていきます。○印の中に赤い●があるところにビーズを置きます。ビーズを置いたところのゴムは、ビーズに通しておきます。</p> <p>後は、左上から順番にゴムを取り、編み機に引っ掛けて編んでいくだけです。</p>			
<p>2 その他</p> <p>このシートを使った生徒は、繰り返しの作業を覚えるのはとても早く、作業スピードも速い生徒です。一度使い方を教えると、後は、好きなゴムの色とビーズの色を組み合わせで一人で使っています。将来的に作業をしていく際に、一人でどんどんできることは大切なことの一つなので、生徒の作業性を高める上で役立っていると思います。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	技能検定手順書<清掃>	教科・領域等	作業学習
情報提供者	高等部 3年 5組 氏名 平尾 計		

教材・教具写真 (規格：A4版4枚)

The image displays four pages of a cleaning manual. Each page is structured as a table with four columns: '作業' (Task), '内容' (Content), '写真' (Photo), and '注意' (Notes). The tasks shown are: 1. Sweeping (掃く), 2. Mopping (拭く), 3. Dusting (拭く), and 4. Mopping (拭く). The photos show a person in a yellow uniform performing these tasks in a hallway. The notes provide detailed instructions and safety warnings. The fourth page includes a floor plan diagram with numbered circles indicating the cleaning sequence.

1 教材・教具の説明

- 高等部2・3年生Ⅱ類型作業学習清掃グループの技能検定にむけての取組みの中で、手順書を生徒の実態に合わせ理解しやすいように編集した。「技能検定清掃・自在ぼうき」編

2 その他

- 「技能検定・テーブル拭き」編も作成し、指導に用いた。

参考文献・Web

「広島県教育委員会 特別支援教育 技能検定手順書」で検索

教材・教具名	「自動販売機の学習」	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	小学部 2年 2組		

教材・教具写真



○教室での練習風景



○タッチパネルのボタンを押す児童



○



○出てきたジュースを取り出す



○本番の様子 ・自分で選んだり、写真カードを見ながら指定した物を買ったりした。



1 教材・教具の説明

○ ねらい

校外学習に向けた取組において、自動販売機で自分の買いたいジュースを選んだり、ボタンを押したりすることができる。

○ 使用場面

生活単元学習

○ 使用をしてみて

児童が選択しやすいように、選択肢のジュースを3つに設定している。画面には、ジュースとボタンがあり、それぞれのボタンを押すと、ドラムロールが流れ、画面に拡大したジュース。そして後ろからSTがジュースを落とし、手前の籠に落ちるという仕掛けである。自販機から落ちる時の「がたん。」という音やジュースの重さも本物に近くなるように、購入したジュースの中に水を入れている。

タッチパネルを用いた活動は、児童が大変意欲的に参加することができた。また効果音もながれるので、一人ずつの活動であったが、友達の活動にも目を向けることができた。取り出したジュースをその場で飲みたいという児童もいたが、「先生に渡す。」「公園で飲む。」ことを繰り返したことで、本番までには、できたジュースを自ら先生に手渡す姿が多くみられた。また、身近なジュースを題材に取り入れたことで、普段、要求や選択をしづらい児童でも、自分の意思をもってジュースを選ぶ場面も見られた。

○ 今後の活用について

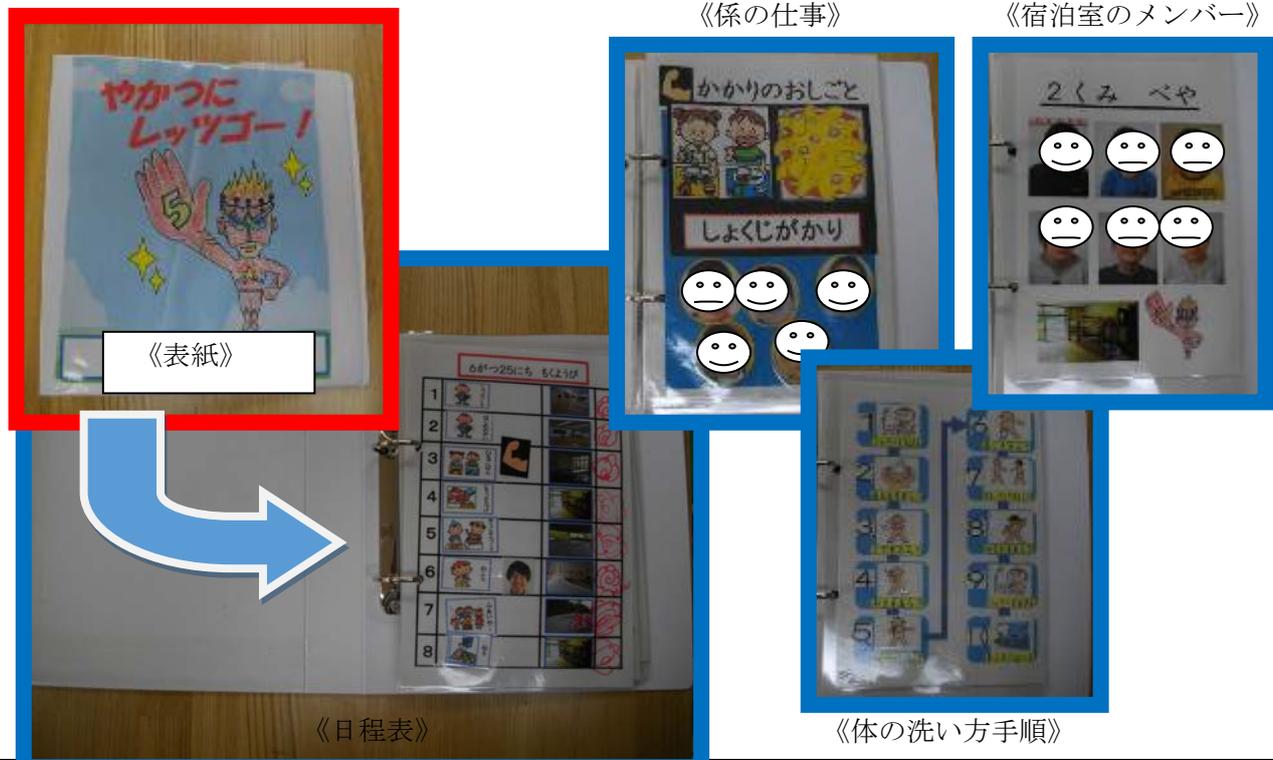
選択肢を増やしたり、タッチパネルを用いた活動を取り入れたりすることで、児童の主体的参加になるので積極的に取り組みたい。また今回は、お金を入れる活動は設定しなかったが、より発展的な学習として算数科などでも取り組んでいきたいと考えている。

参考文献・Web

教材・教具名	校外学習スケジュール帳	教科・領域等	生活単元学習 ～新幹線を見に行こう～
情報提供者	小学部 6年 1組	氏名	前田有紀子
教材・教具写真	(左規格：縦 32cm×横 12cm×高さ cm) (右規格：縦 15cm×横 11cm×高さ cm)		
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>生活単元学習（校外学習）で、活動への見通しを持って行動することができるように作成した。活動が終わるごとに、カードを外して【おしまいBOX】に入れ、活動が全て終わったらカードも全て目の前から無くなるという仕組みになっている。</p> <p>児童の実態に応じてパターンを2つ用意した。</p> <p>写真左が、文字や数字を読むことは苦手であるが、イラストや上から下へ流れる順序は大体理解している児童用である。『活動が終わるごとにカードを外す』という作業を、まずは身につけて欲しかったため、本時ではおしまいBOXは付けず、教員が回収していく形を取った。</p> <p>写真右が、文字や数列を理解している児童用である。</p> <p>2 その他</p> <p>活動中混乱することなく、見通しを持って行動することができていた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	野外活動のしおり	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	小学部 5年 2組 氏名 井手本・中島・岩田		

教材・教具写真 (規格：A5版ファイル)



1 教材・教具の説明

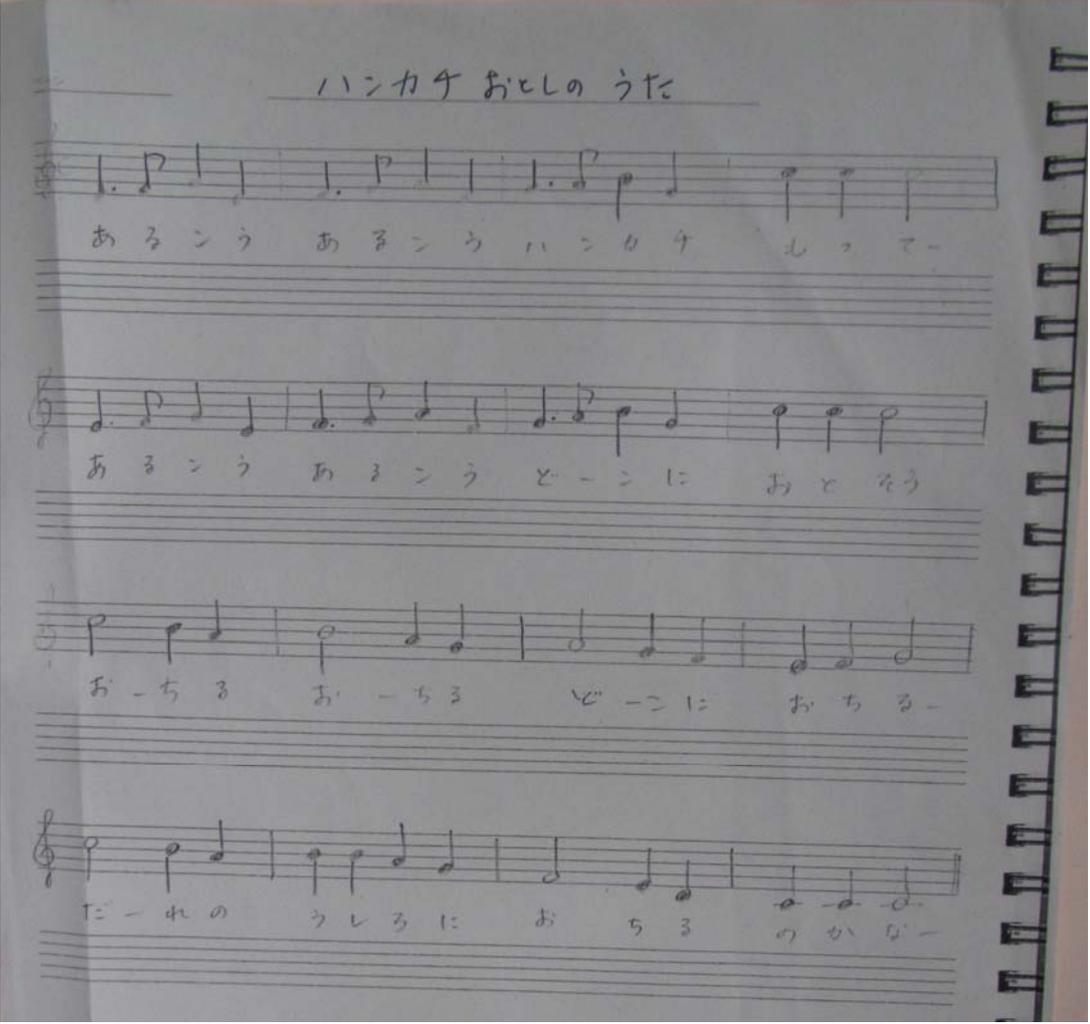
- ・ 児童と一緒に作成した野外活動のしおりです。
- ・ 児童自身が持ち運びしやすいように、小さめのファイル（A5版）を使用しています。
- ・ 内容は日程、自分の係、宿泊室のメンバー、各活動の手順表等で、1ページずつ、シールを貼りながら確認を行い作成していきました。
- ・ 児童が何度も見返すことができるように、一枚一枚をラミネート加工しています。

2 その他

- ・ 野外活動当日、これがあったことで、何度も見返して自分自身で確認を行えたり、見通しをもって次の活動が分かり、意欲的に取り組めたりする姿を見ることができました。

参考文献・Web

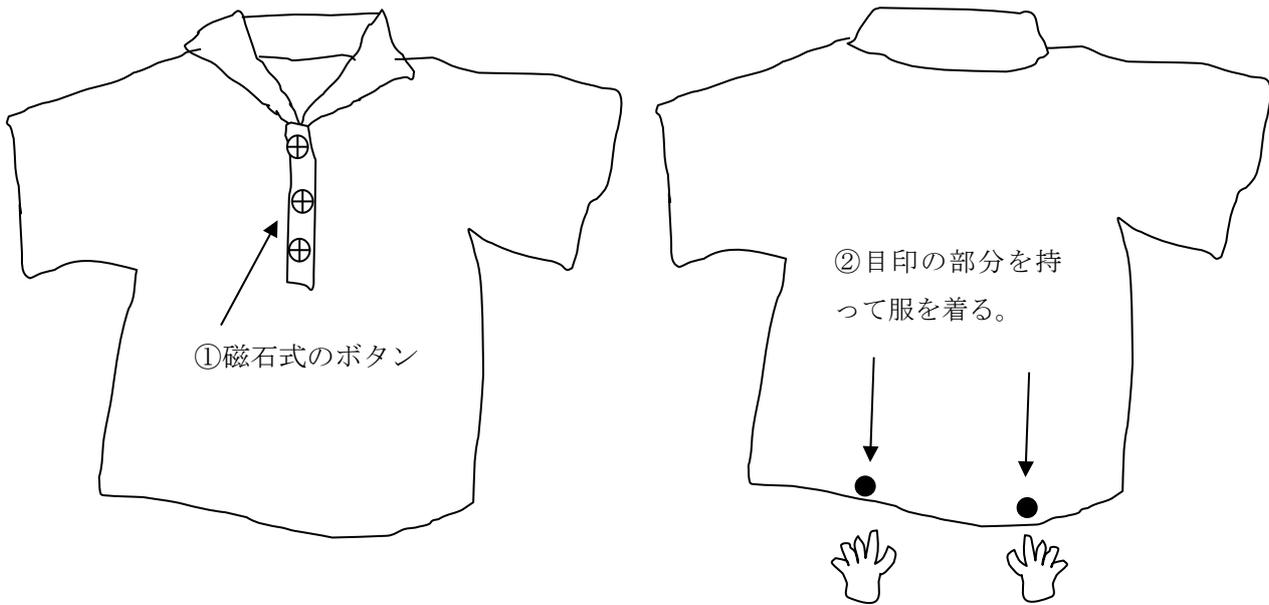
教材・教具名	「穴にポトン！」	教科・領域 等	生活単元
情報提供者	高等部 1 年 12 組 氏名 松本 真佐枝		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>ペグ刺しや型はめに至る手前の操作を狙ったものです。穴に塩ビのボールをポトンと落とすと鈴の音が鳴るようになっていました。自分が穴に向かってボールを入れるということは、ボールをつかんだり離したりする動作が必要であり、このことができると日常生活の中で物を入れ物に入れることが可能になります。</p> <p>現在生徒 A さんは、穴の縁に触ったり、ボールをつかんだりするところまではできるようになりました。</p> <p>言葉の指示でボールを入れることができる生徒 B さんがいます。その生徒用に 1 対 1 対応の学習を組み合わせました。それは、ボールを 1 つずつ入れた入れ物からボールを 1 つずつ箱の穴に入れ、そのボールを箱から出して、また元の入れ物に 1 つずつ入れて返す、というものです。</p> <p>ボールの色を変えてその写真を入れ物の底に貼れば、色のマッチングもできると思います。</p> <p>2 その他</p> <p>○穴にボールを入れるところまでは難しい場合には、「かごにボールを入れる」というようなことに置き換えて取り組むことができました。かごの中ならば、何回かに 1 回はボールを手から離してかごに入れることができるようになりました。</p> <p>○生徒 B さんは、穴とボールを見せただけで。何をするか類推してボールを穴に入れる取組ができました。言葉だけの指示で 2 回目をすることもできました。簡単な操作を言葉だけの指示で行うことをこれからも経験させていきたいと思います。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ハンカチおとしのうた	教科・領域等	総合的な学習の時間
情報提供者	中学部部 1年 4組 氏名 木下 由美		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
1 教材・教具の説明			
<p>「ハンカチ落とし」のゲームをするときに、ルールを理解させたり、雰囲気盛り上げたりするために、曲をつくりました。</p> <p>この曲を歌いながらハンカチを持った人が歩き始めると、ゲーム開始の合図にもなり、予想以上に盛り上がりました。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	朝の会 (PowerPoint 教材)	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	小学部 1年 2組 氏名 岡本 文江 福田 正和 濱元 莉菜		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○「朝の会」用の PowerPoint 教材です。一連の流れを分かりやすく図示し、一つひとつ会が進んでいく過程をわかりやすくし、児童に見通しをもたせるために作成しました。集中を促すための効果音や、イラストなどをふんだんに取り入れてみました。進行係の児童が、キーボードの右ボタンを押すたびに朝の会が進んでいく形式にし、児童の係活動や自主性を高める工夫もしています。なお、途中に「体づくり」的な活動（バランスボールなど）を入れることで、運動による気持ちのリフレッシュも試みています。気持ちが不安定な児童が多い2組にとって、とてもよい時間になっています。</p> <p>2 その他</p> <p>○約40～45分の朝の会です。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	にぎりやすい棒	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	小学部 1年 7組 氏名 山下 真由		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1人で棒を握ることが困難な児童のために、棒にスポンジに穴をあけたものを取り付けている。 ○ スポンジの穴に手を入れるだけで、教師が手を介助しなくても、棒を持つことができる。 ○ 指を支える形になっているので、長時間持つことができ、握る力が付いてきたように感じる。 ○ 矢印を付けて、朝の会で時間割を確認する際、時間割係の児童が持ち、カードを指して使っている。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 100円均一に売っているスポンジをテープで付けただけの簡単な作りです。 ○ スポンジの後ろに教師が持つ部分を残しておくこと、支援しやすい。 			
参考文献・Web			

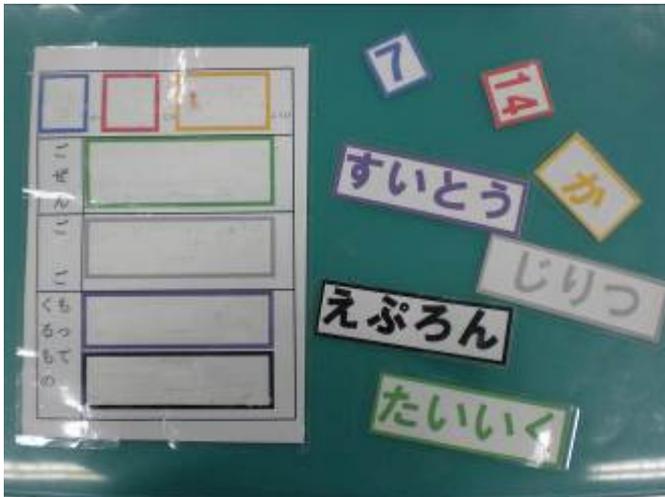
教材・教具名	場所カード	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	小学部 5年 4組 氏名 藤原 友里菜		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○本学級児童の課題 本学級は重複障害児童が2名在籍している。 友達に伝えたい気持ちはあるが、発語が少なくコミュニケーション手段が少ない。 弱視もあり、カードを見る力が弱い。移動の途中に目的地を忘れることがある。</p> <p>○ねらい 「△△に行きたい」気持ちを伝えることができるようになる。 場所と写真のマッチングができるようになる。</p> <p>○使用場面 日常生活の指導・遊びの指導・自立活動など。</p> <p>○使用してみた 自分の行きたい場所や、やりたいことが友達や教師に伝わることが嬉しい様子だった。 児童一人ずつに作ることで、お互いの行きたい場所を伝えあうことができていた。 カードのふちが無いタイプの物も作ったが、弱視の児童には青いふちがあるタイプの方が認識しやすいようだった。</p> <p>○今後の活用について 児童自身で、フィードバックができるように活用していきたい。 カードの内容を場所だけでなく、日常生活で関わる人にも広げていきたい。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	一人で着衣できるための支援	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	中学部 1年 7組		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学級の保護者が作製した「一人で着衣できるための支援」を紹介します。 <p>① 磁石式のボタン</p> <p>② 目印の部分を持って服を着る。</p> <p>この支援によって、「ボタン留めをできない・前後を間違える」生徒が、一人で更衣室に行つて着替えることができるようになりました。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	音のならないタイマー	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	中学部 2年 4組 氏名 石竹 真也		
教材・教具写真 (規格:縦 5 cm×横 3 cm×高さ 1 cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>使用方法是通常のタイマーと同じです。しかし、異なるのは、時間がくると音になる代わりに接続したダイオードが点灯します。高音や大きな音が苦手であるなど聴覚の感覚が過敏な生徒に対し、活動の区切りをつけさせるための教材として使用しました。</p>			
<p>2 その他</p> <p>教材の制作方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①タイマー (100 円ショップで販売しているようなもので大丈夫です) 1 個、ダイオード 2 個を用意する。 ②タイマーの外装を、ドライバーではずす。 ③外装の中で、ダイオードをどの部分から出すか決め、穴を開ける (直径 8mm ほど)。 ④タイマーの回路を見て、スピーカー部分についている 2 つの端子を半田ごてで切断する。 ⑤④ではずした端子をダイオードの端子に半田ごてで接続する (ダイオードの長い端子がプラス極。ダイオード同士は並列に接続する)。 ⑥試運転を行い、接続に不具合がないかを確認する。 ⑦作動することを確認し、外装を元に戻す。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	連絡帳	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	中学部 1年 1組	氏名	三吉 智貴

教材・教具写真 (規格：A4)



1 教材・教具の説明

- 文字が書けない生徒も連絡帳を書くことができるように作成した。
- 色のマッチングを行うことで、日にち、学習予定、持ってくるものが分かる連絡帳にすることができる。
- マジックテープで貼り付けているため、付け外しが簡単に行える。
- 各色が映えるよう、背景は白色にしている。
- 色のマッチングの練習にもなる。

2 その他

- 学級で連絡帳を書く時間に、対象生徒は今までは違う活動をしていたので、学級全体で同じ活動に取り組むことができるようになった。
- 繰り返すことで色のマッチングがより確実になった。
- 貼る場所があっても、向きを上下反対に貼ってしまうことがよくあるので、改善したい。

教材・教具名	スケジュールボード	教科・領域等	日常生活の指導
--------	-----------	--------	---------

情報提供者	中学部 2年 2組 氏名 永野 信哉
-------	--------------------

教材・教具写真 (規格:縦 40cm×横 90cm×高さ 180cm)



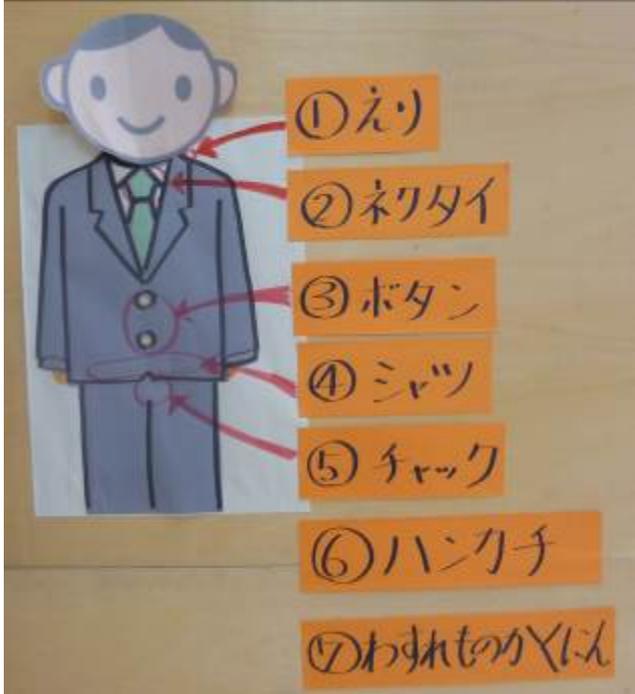
1 教材・教具の説明

- 朝の会や帰りの会でスケジュールを確認するときに使用する。
- ホワイトボードだとスケジュールカードが見えづらいと考え、作製した。
- 地と図の区別をはっきりとし、注目させやすくしたかった。
- 黒のプラ段を使っているため、白いカードが映えやすくなっている。また、黄色のビニルテープにすることで、境目が分かりやすくなっている。
- 時計のカードを付ける場所を作り、授業の開始時刻を示している。

2 その他

- 材料費…ハンガーラック(約700円)、プラ段(約500円)
 その他(マグネットシート、黄ビニルテープ、綴じひも)
- ハンガーラックで作製しているため、移動がしやすい。
- ハンガーラックとプラ段は綴じひもで付けている。

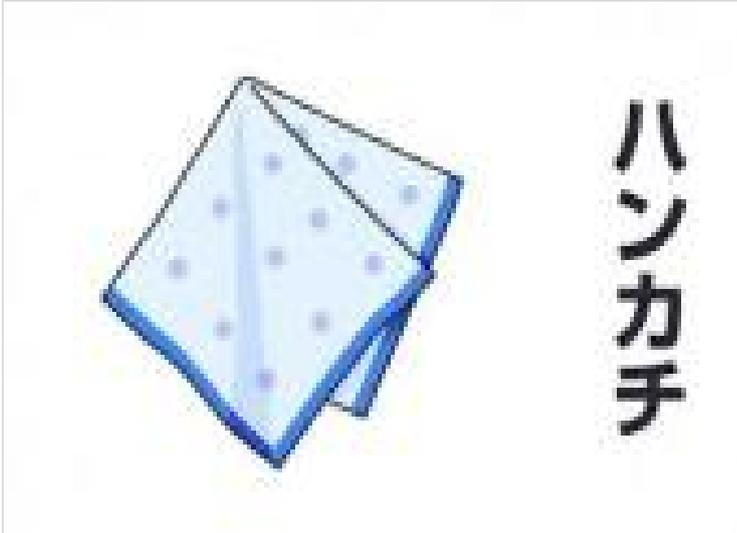
参考文献・Web

教材・教具名	みだしなみチェック (掲示)	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 2年 6組 氏名 間賀田 京子		
教材・教具写真 (規格: 縦 73cm × 横 60cm × 高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着替え後の身だしなみチェックをするため、鏡の横に設置しました。 ①から順に鏡を見ながら確認することで、身だしなみのポイントを意識させ、自分で整えるようになることをねらっています。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で身だしなみを整えきることが難しい生徒には、教師が掲示を指差して順に確認を促すことで、身だしなみを整える習慣をつけています。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	「ハンカチを忘れない」	教科・領域等	日常生活の時間
--------	-------------	--------	---------

情報提供者	高等部 1年 5組 氏名 川上 清彦
-------	--------------------

教材・教具写真 (規格：縦 6.5 cm×横 10 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

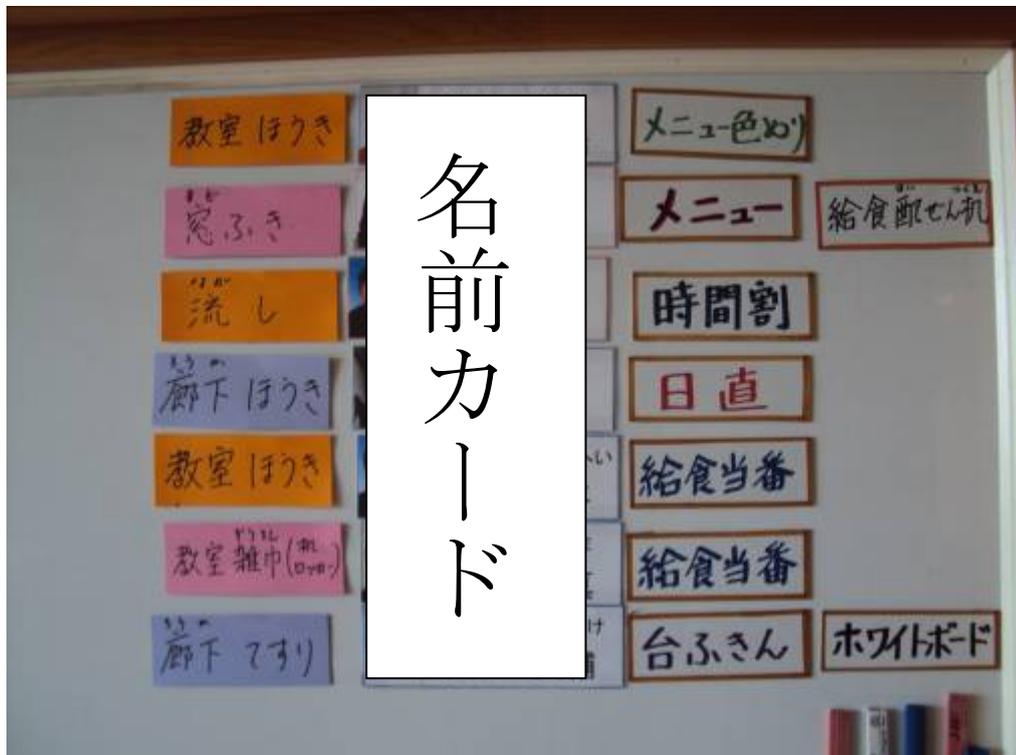
制服のポケットにハンカチを入れているが、校内着に着替える際に、そのハンカチの入れ替えができない生徒がいる。そこで、更衣室のロッカーに上のイラストを貼り付けている。

2 その他

教材・教具名	ひも結び練習靴	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 2年 5組	氏名	大野 眞佐代
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>ひも結びの練習をするための靴。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 興味をもってとりくめる。 ○ 靴をイメージしながら練習し、実際の場面につなげやすい。 ○ 実態に応じてひもの素材や太さを変えることができる。 <p>2 その他</p> <p>輪を作ってからその二つの輪を結ぶ方法と、一つの輪にひもを掛ける方法で蝶々結びを試した。実態として、二つの輪を結ぶ方法が該当生徒に適しており、その方法で練習を行った。結果、結ぶことが出来るようになり、自分の靴で蝶々結びをするようになった。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	係・掃除一覧表	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 1年 4組 氏名 山本大貴		

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

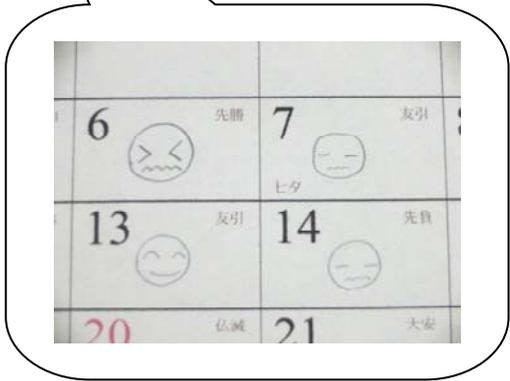
ホワイトボードに張って、係の仕事、掃除の分担を一目でわかるように掲示しています。日替わりで仕事の札をずらしていきます。毎朝、今日の仕事を確認するように指示します。確認の難しい生徒はこの一覧の前まで連れて行き、確認したうえで仕事を行わせ、仕事とカードを関連付けられるようにしています。

2 その他

名前カードはプライバシー保護のために隠しています。顔写真の横に、読みがなを振った名前を書いたものを貼っています。

教材・教具名	体調チェック表	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 3年 3組 氏名	木戸 英明 黒田 順子	

教材・教具写真 (規格：A4横サイズ)



1 教材・教具の説明

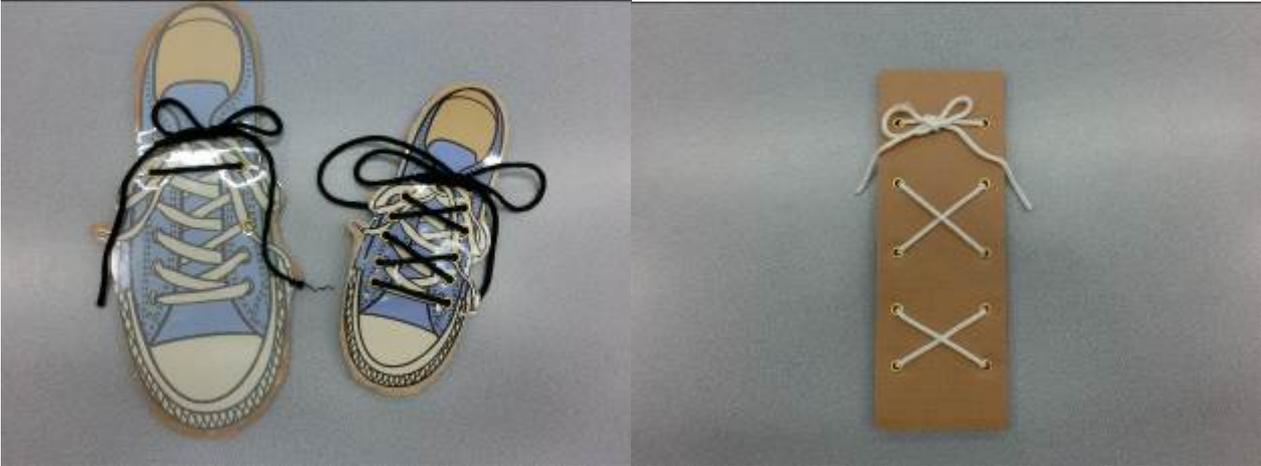
- 毎日の心と体の状態を自分で考えてその状態をニコちゃんの顔で表現している。
- 毎月自分で振り返りをして、体調の変化を知る。
- 体力づくりに参加する前の健康観察も含んでいる。

2 その他

- 毎日取り組むことで自分から進んで記入するようになった。
- 体力づくりの当日の目標を健康の状態を関連づけて考えられるようになった。

参考文献・Web	
----------	--

【教材・教具解説】

教材・教具名	ひも結び1号・2号	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 3年 6組	氏名	瀬良 博文 井上 彰子 山本 将二郎
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
1号	2号		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の指導の時間に、個々の課題に応じて指先を使う活動を行っている。この教具は、その中のひとつで、蝶結びの練習をする道具である。 ○ 靴紐がほどけていても、自分で結べない生徒が多いという実態の中で、靴のデザインの蝶結びの教具を作製した。(1号) ○ 紐をほどいて穴の位置を変えることで、紐の長さを変えることができ、蝶結びがし易くなる。(2号) <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 蝶結びができるようになる。 ○ 紐を穴に通すことができるようになる。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	意志表示カード	教科・領域等	日生
情報提供者	高等部 3年 7組	氏名 楠 孝浩	
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>言語表現があまり得意でなく、時々困ってしまう生徒に対して、本人の気持ちを示すために作ったものです。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	スケジュールと意思表示ボード	教科・領域等	日常生活の指導
--------	----------------	--------	---------

情報提供者	高等部 3年 9組 氏名 木村伸生、朝日南亮子、畑田早紀
-------	------------------------------

教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)



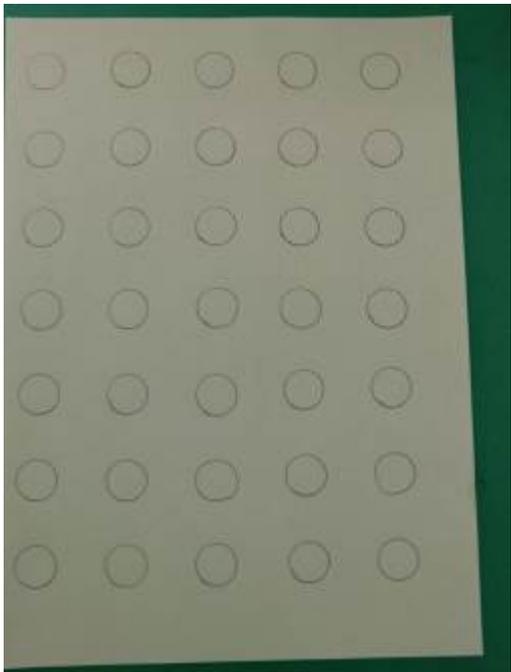
1 教材・教具の説明

発語のほとんどない生徒が意思表示をしやすいように、好きなキャラクターやアイドルの写真を使ってカードを作りました。

左は朝の会の健康観察時やスケジュールをわかりやすくするために本人が使っています。

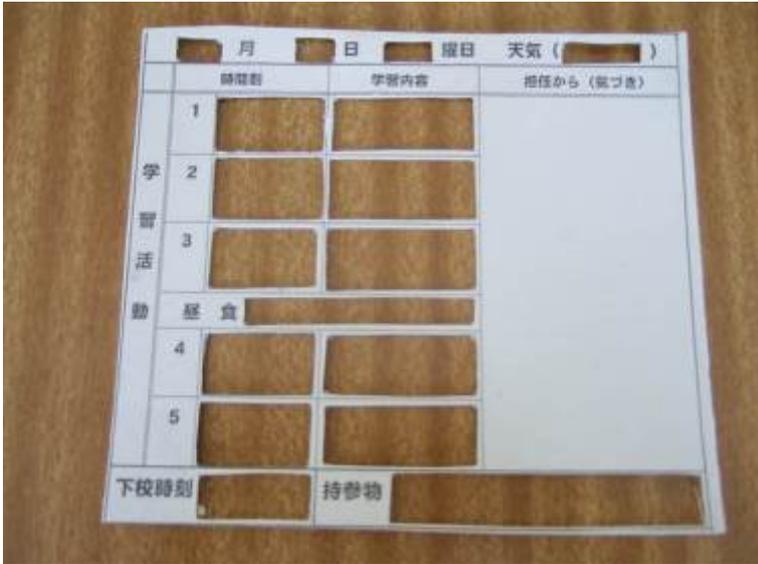
右は帰りの会などの振り返り時に使っています。

2 その他

教材・教具名	シール貼りの枠	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 1年 1組 氏名 辻 猛夫		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
1 教材・教具の説明			
<p>Ⅲ類型は企業就労を目指している生徒が多数いるが、経験不足のためにできないことが多数ある。朝の日常生活の時間を利用して、何種類かの作業を課題として毎日行わせている。</p> <p>この教材・教具は丸枠の中に正確にシールを貼るためのもので手の巧緻性の向上を目的としている。</p> <p>これからも新しい種目を入れながら行わせいきたいと思う。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	連絡帳記入用の枠	教科・領域等	日常生活の指導
--------	----------	--------	---------

情報提供者	高等部 1年 2組 氏名 木村 和貴、柴田 知佳
-------	--------------------------

教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)
	

1 教材・教具の説明

Ⅲ類型の生徒は、漢字を書くことができても、丁寧を書いたり、一定の枠内に書いたりすることが苦手な生徒もいる。急いで書かなくてはいけないとあせって書くことで連絡帳の枠をはみ出したり、連絡帳の枠内に視線を集中することができにくかったりする生徒に、文字を書く範囲を分かりやすくするために使用している。

2 その他

教材・教具名	遊びカード	教科・領域等	遊びの指導
情報提供者	小学部 1年 3組 氏名 村上・益・竹野		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
1			
2			
3			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>「児童の課題、教具のねらい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学当初、自分のやりたい遊びをクレーン動作や単語で要求したり、言葉の不明瞭さがあつたりと伝わらないことが多かった。自分の思いを相手に確実に伝えるために遊びカードを教室内に設置した。 <p>「使用方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの時間に、遊びカードで一人ずつ要求の練習をし、要求をしたらおもちゃが貸してもらえたり、遊び場所に行ったりできるという経験を重ねた。 ・自由遊びの時間、休憩時間などに言葉掛けをすることで、遊びカードが定着するように指導した。 <p>「教具の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に捉えやすいように、背景を白い画用紙、緑（活動）やオレンジ（場所）の枠にし、写真はそのまま使わず、対象物のみを切り抜いて使用した。 ・1、2の遊び場所のカードはドア付近に置き、3の遊びカードはおもちゃ棚の前に置くことで、児童の目に入りやすくした。 <p>2 その他</p> <p>「児童の反応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の好きな遊びをカードで視覚的に示すことで、要求の少なかった児童も自分から伝える回数が増えてきた。 			
参考文献・Web			

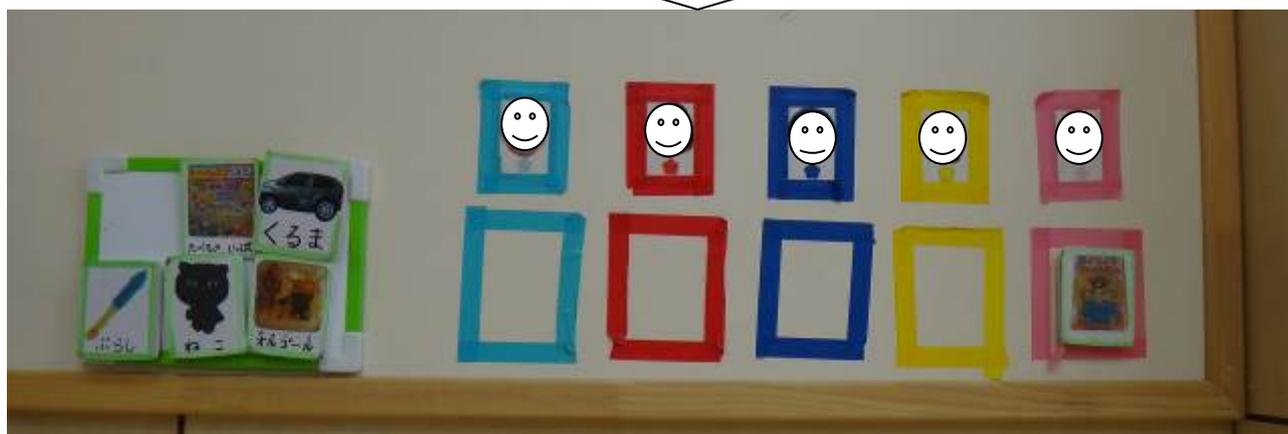
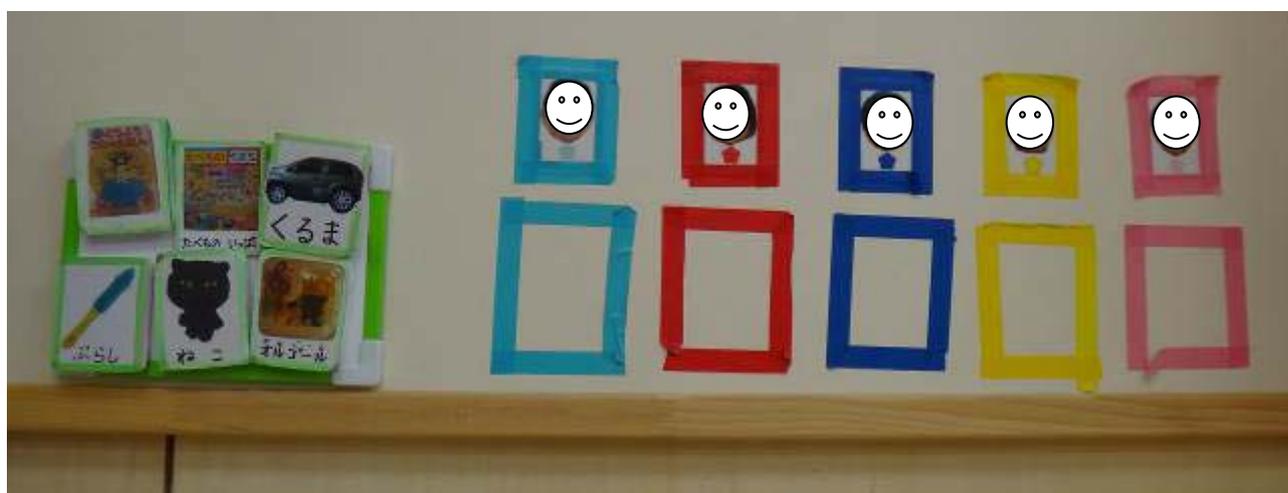
教材・教具名	スナップ	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 1年 6組 氏名 横山・倉石		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手先で、スナップを留めたり、外したりする練習をするための教材です。 ・同じマークのスナップを留めます。 ・スナップは、21ミリのものから、17ミリ・14ミリと、だんだんと小さくしていきます。 ・上の段は、凹を凸よりもワンサイズ大きいものを使って、留めやすいようにしています。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留め方、外し方が分かると、何度もやってみようとしていた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	要求カード (ボード)	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部4年2組	氏名 松下 響	實田 友美
教材・教具写真 (規格:縦 約20cm×横 約22cm×高さ cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			
1 教材・教具の説明			
<p>発語が難しい児童が、自分の要求を伝えることができるようにカード (ボード) を作成しました。昨年度までの取組で、「トイレ」「いきたい」、「スロープ」「いきたい」など、2語文での要求がカードでできている児童だったので、今年度から、先生の名前や色を加えて、「〇〇先生」「スロープ」「いきたい」や「あお」「ボール」「ください」など、3語文での要求に取り組み始めました。色や先生の名前も一緒に貼るということは、すぐに身に付いたのですが、カードを貼る順番をなかなか覚えることができませんでした。そこで、カードと台紙に色 (緑、青、赤) を付け、色に合わせると正しくカードを並べることができるように工夫しました。最初は、順番がばらばらのままでしたが、すぐ身に付き、今では正しい順番でカードを並べ、要求することができています。</p>			
2 その他			
<p>他の教室で使われているカードやボードを参考にさせていただきました。材料は全て100円均一で購入しています。</p>			
<p>今後は、カードの種類を増やしたり、感情を表すことができるカードを取り入れたりして、伝えることができる意志や要求を広げていきたいと考えています。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ベンチ椅子	教科・領域等	自立活動・日常生活の指導
教材・教具写真 (規格：縦 80cm×横 (子どもの腰幅) cm×高さ (子どもの膝下) cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象：肢体不自由を伴う重複障害児童・生徒</p> <p>2) 育てたい力：・介助座位で支えてもらいながら、身体軸を正常に維持する力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下肢に体重を感じ、体幹や上肢、頭のコントロールをする抗重力姿勢を取る力の基礎を育てる。 ・ 介助者のぬくもりを感じることで、人への信頼と親近感を育てる。 <p>3) 使い方：児童・生徒に合わせて採寸し、作製した物である。児童・生徒は、介助者（教師）に後ろから上肢または腰や顎を支えてもらい、足を地面に付けて座位を取る。介助者は、ベンチ椅子をまたいで座り、背後から支援をする。</p> <p>2 その他</p> <p>本学級の児童は3人中2人が常時座位保持椅子に座っており、それを降りて授業に参加できないか、という希望からベンチ椅子を作製した。児童の体を採寸して作ったため、とても座りやすく、正しい姿勢を取ることができているように思う。背後からでは児童の表情がよく見えないため、机に鏡を付けるなどする時もある。一人の児童は背後から背骨に沿って体幹を支え、もう一人は背中をもたれかからせた上、顎を保持するようにしている。</p> <p>主に足湯や、玩具遊びなどの場面に使っているが、音楽など、児童の好きな教科でベンチ椅子を使うこともある。</p> <p>この椅子を使うようにしてから、介助座位で手が良く動かせるようになったり、姿勢を変えることで痰が良く動き、咳を促したりすることができるようになった。</p>			
参考文献・Web	雑誌 肢体不自由教育「見ることと聞くこと」(全日本肢体不自由教育研究会 著)		

教材・教具名	スクーターボード	教科・領域等	体育・自立活動・遊びの指導
教材・教具写真 (規格：縦 150cm×横65cm×高さ10cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象：肢体不自由を伴う重複障害児童・生徒 (耐荷量：180kg)</p> <p>2) 育てたい力：・揺れや重力移動においても、身体軸を正常に維持する力をつける。 ・ 下肢に体重を感じ、体幹や上肢、頭のコントロールをする抗重力姿勢を取る力の基礎を育てる。</p> <p>3) 使い方：1：児童・生徒は介助者①(教師)とともに介助座位で乗り、介助者②が引っ張ることで、前方への移動・回転・上下動・視覚的な刺激を取り入れる。 木の板にでこぼこを付けた、でこぼこ道ゾーンや、暗幕を張ったトンネルなどを作っても面白い。</p> <p>2：腹臥位でボードに寝転び、伊達締め等で落ちないように固定して進む。</p> <p>2 その他</p> <p>本学級の児童は3人中2人が常時座位保持椅子に座っており、SRCウォーカーを使うこと以外はあまり移動のために乗り物教材に乗ることも少ない。二人とも腰で自分の体重を支える経験に乏しいため、介助座位でスクーターボードに乗る際は、介助者①の膝で児童の腰を挟み、腰から上体がまっすぐになるように注意して行った。</p> <p>広場で乗ると、児童は目を丸くして震動やスピードを感じていた。やはり自分の腰で支える姿勢には慣れないらしく、5周ほどすると疲れたように力が抜けてきていた。</p> <p>スピードを速くすることで体の横に感じる遠心力や、進むとき、泊まるときに感じる慣性の力、そして腰に掛かる重力などを感じて活動し、そして次第に腰を中心とした筋力、抗重力姿勢の基礎が築ければ良いと考えている。</p>			
参考文献・Web	みんなが輝く体育7「障害児 体育の授業」(学校体育研究同志会)		

教材・教具名	ください コーナー	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 2年 1組 氏名 内田 典子		



1 教材・教具の説明

【ねらい】

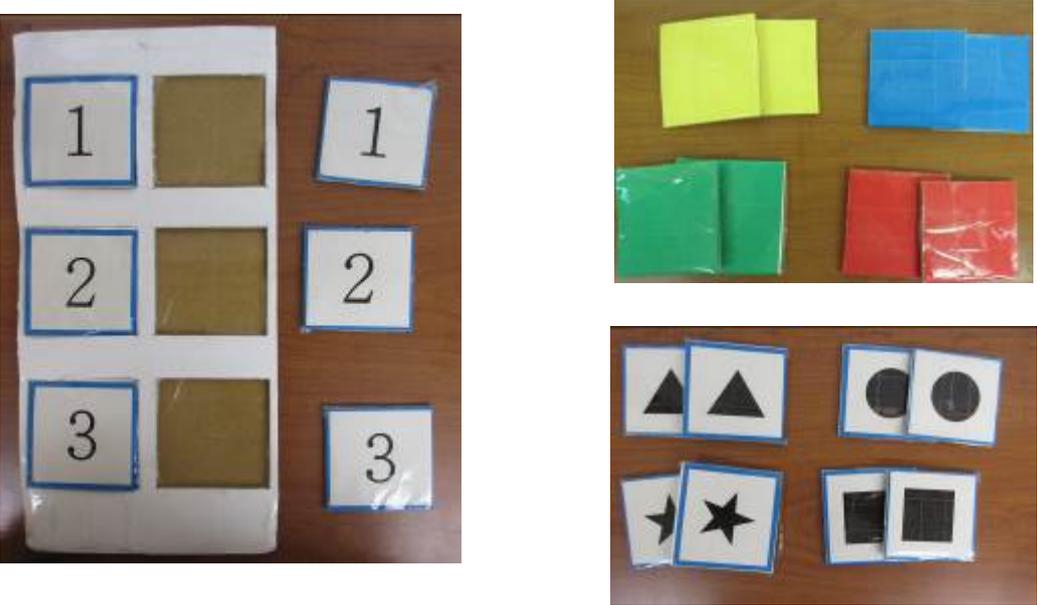
登校後、朝の支度が終わって体操するまでの自由時間や休憩時間などに、自分の好きなおもちゃや絵本を選んで教師に遊びたい物の名前を言葉に出そうとしたり、遊びカードの中から選び、自分の枠に貼ったりして、遊びたい気持ちを教師に伝えようとする気持ちをもつ。

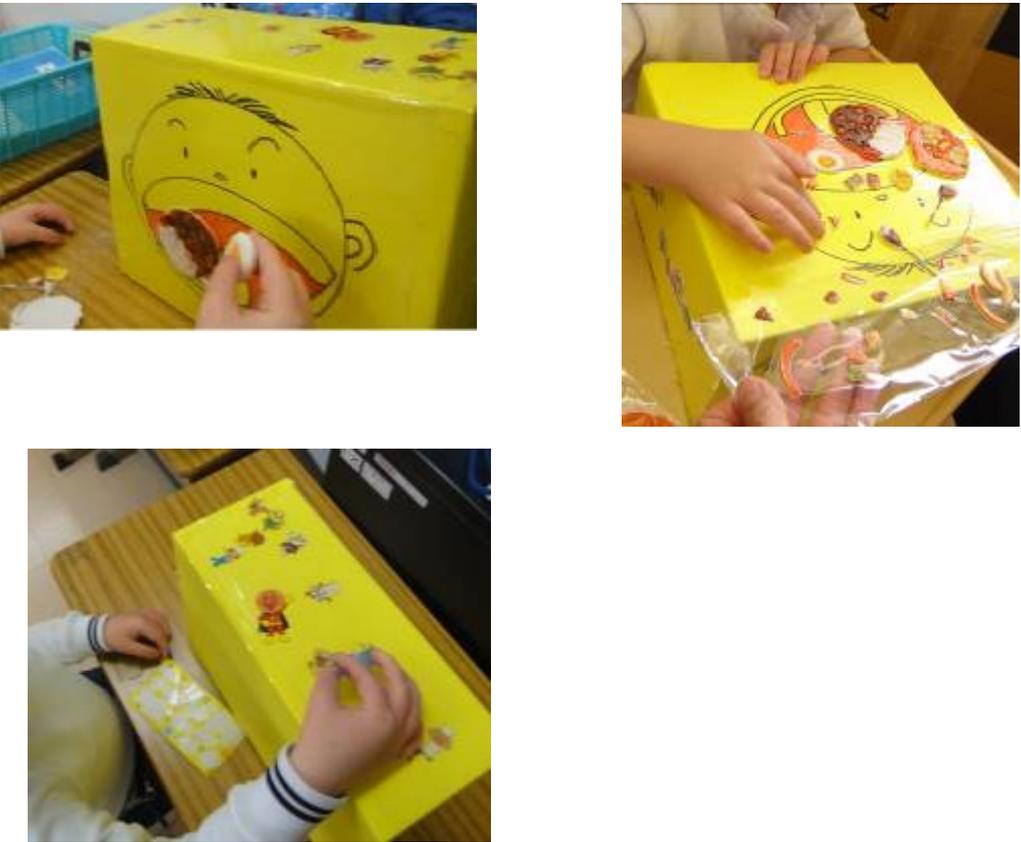
【使い方】

- ①いつでも気持ちを伝えることができるよう、遊びカードを常に決まった場所に掲示しておく。
- ②枠の上に顔写真を貼り、自分の気持ちを伝える枠であることを分かりやすくする。
- ③遊びカードを取って教師に伝えたら、必ずその遊びができたり繰り返し褒められたりする関わりを続ける。

2 その他

朝の支度が終わると、自分から遊びカードが貼ってあるボードに近づいて、「ぞうさん（童謡歌絵本）」「くるま」などの言葉と共に遊びカードを手に取り、顔写真の貼ってある自分の枠に貼って遊びたいものを伝えようとする行動が多く見られるようになった児童がいる。

教材・教具名	マッチングボード	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 2年 4組 氏名 黒田 敬		
教材・教具写真	(規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>「児童の課題、教具のねらい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を定めることができる。 ・数字や文字の学習として使用できる。 ・発語が難しい児童にとって、将来人に文字で伝えることの足掛かりになる。 <p>「使用方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字、形、色等のマッチング学習をするときに使用する。 ・あらかじめ左側の列に数字等のカードを入れておき、児童は対応する場所にカードをそれぞれはめていく。 <p>「教具の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型はめ式にすることで終着点を確認できる。 ・児童が扱いやすいような厚みのある紙でできている。 ・朝の会で使用している日付カードと同規格のものを用いたことで、児童が親しみを持ち、抵抗なく課題に取り組むことができた。 ・カードを入れ替えることができ、児童に応じて数字、形、色等のマッチングを行うことができる。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、絵を提示するとともに平仮名のマッチングを行っていくことで、物に名前があることを認識したり、絵と平仮名をマッチングさせていったりすることをできるようにしていきたい。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	シールBOX	教科・領域等	自立
情報提供者	小学部 2年 5組 氏名 平位 和帆		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>シートよりシールを剥がし、指定した範囲内に貼り付ける動作の中で、手指の巧緻性向上を図るための教具である。児童が興味をもちやすい食べ物のシールを使用した。また、5mm程度の厚みがあるものから取り組むことで、児童が手に取って遊んでいるうちに、自然にシールが剥がれるように仕組んだ。</p> <p>シールを貼る場所を、平面ではなく、立体物にすることで、児童が視覚的に捕らえやすくなることや、角度の調整が容易になるようにした。立体物の前面を無色透明のビニルテープで覆うことで、シールの貼り直しができるようにしている。慣れてきたら、厚みがある小さなシール→厚みのない大きなシール・・・といった段階で、難度を調整した。</p> <p>2 その他</p> <p>関心が高いシールを使用することで、児童は集中して活動に取り組むことができた。今後は、貼り付ける範囲の指定等、徐々に発展的な取り組みを行いたい。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	キラキラキャッチ	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 3年 5組 氏名 清水 和枝		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>タオルやひもが好きで、首元のスタイや服のすそばかり触る感覚遊びに集中するため、首がうなだれ、外界に目が向きにくい、かつ腕も縮こまって、腕全体を持ち上げ、大きく動かすことの少ない児童への、教材として考えた。握りこむ力、引きちぎる力、目標を目指して腕をコントロールする力を育てられると考えた。</p> <p>小物干しに、児童の好きなキラキラモールや、目を引く鮮やかな色の物どを留め、児童の手が届く高さのところに吊るしたものである。</p> <p>目の前に提示すると、興味をもち、声をあげてうれしそうに、腕を伸ばし、握って引き下ろして、モールを外すことができた。本児の場合、赤い色や濃い色の物が好きなため、好きな色の中から外すことができた。4～5本のモールを外す間、両腕を肩の高さぐらいまで持ち上げることができた。児童の握り方の特徴にあわせ、長さや提示位置を変えることも簡単である。ただし、児童によると思われるが、飽きが来る少し前に終わりにすることで、達成感を味わわせ、次回への意欲維持を期待する。</p> <p>2 その他</p> <p>吊り下げる物を、握り易い模型、ひも、こぶを作ったひも、など変えることで、変化をつけたり、児童の課題に合わせるができると思う。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	服畳み器	教科・領域等	自立活動・日常生活の時間
--------	------	--------	--------------

情報提供者	中学部 2年1組 石村 順子
-------	----------------

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



小 大

1 教材・教具の説明

着替えが終わった後の服を、一人で畳めないかと考えた。市販の支援教材を参考に作った。体が大きい生徒は大で、小さい生徒は小を使って取り組んだ。平面にきちんと服を置くことができたなら、右、左、下と板を倒せば簡単に畳むことができる。生徒は積極的に使い、徐々にこの板がなくても畳めることができるようになってきた。

2 その他

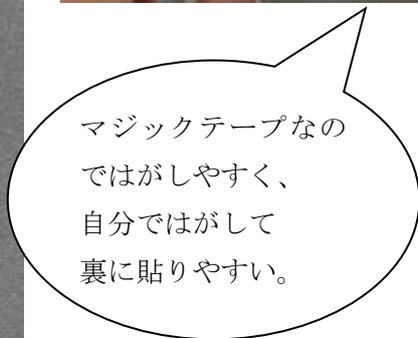
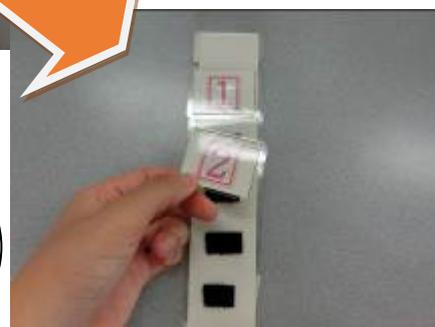
実態に応じて、視覚に分かりやすいように、服型に切った色画用紙を置くことでより、生徒が服を置きやすいようにする。



教材・教具名	数字カード	教科・領域等	体力づくり、自立
--------	-------	--------	----------

情報提供者	中学部 1年 3組 氏名 井上 紗椰子
-------	---------------------

教材・教具写真 (規格: 縦 15~20cm×横 5cm×くらい)



1 教材・教具の説明

ねらい

- ・できるだけ1人で数えながらランニングができるようになる。

対象生徒

- ・言葉の指示が通り、手順が分かれば一人で行うことができる。

2 支援の効果

体力づくりで外に出た際に、一人ずつ教師が声かけをせずに、自分で番号をひっくり返してグラウンドのトラックを決められた周数を走ることができた。

参考文献・Web

教材・教具名	マッチング	教科・領域等	国語・数学・自立
情報提供者	中学部 1年 9組 氏名 森河 涼子		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>マグネットにシールを貼って、同じものを合わせる。 バリエーション→絵、記号、文字、数字、アルファベットなど</p> <p>収納の際に、マグネットでまとまるので便利です。</p>			
<p>2 その他</p> <p>ルールが合わせることなのでいろいろなパターンで応用できると思います。 児童生徒が好きな絵柄や名前のひらがな、漢字など 百円均一に販売されているもので手軽に作ることができます。</p>			
参考文献・Web			

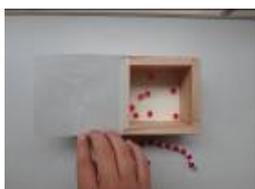
教材・教具名	押し込んで入れる玉入れ	教科・領域等	自立活動
情報提供者	中学 部 3 年 1 組 氏名 藤井 あけみ		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>(1) 対象生徒：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 手指の動きに不器用さがある。 ② 視野が定まりにくく、活動に取り掛かるまでに時間を要する。 ③ 活動の継続が難しい。 <p>(2) 使用目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① つまんだり、押したり、位置を合わせたりする手指の細かい技能を高めること。 ② 活動にスムーズに取り掛かり、継続することを促す。 <p>(3) 使用方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 容器の中からスーパーボールを取り出す。 ② 蓋の中央に切り込みのある容器にスーパーボールを入れる。 ③ すべてのスーパーボールを容器に入れたら、切り込みのある蓋を空の容器にはめる。 ④ ①～③を繰り返す。 <p>2 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スーパーボールを使用することで、容器に入れた際、ボールが弾む感覚を視覚、聴覚、触覚で楽しみ、意欲的に活動を続けることができた。 ② スーパーボールの鮮やかな色に興味向き、活動に取り掛かりやすかった。また、透明の蓋を使用することで、容器内にボールが入ったことを実感しやすかった。 ③ 同じ容器を2つ使用することで、活動を継続させることができた。 			
参考文献・Web	養護学校の授業に役立つ自作創作教材・教具		

教材・教具名	2色ビーズ通しができるもん	教科・領域等	自立活動、作業学習（手工）
--------	---------------	--------	---------------

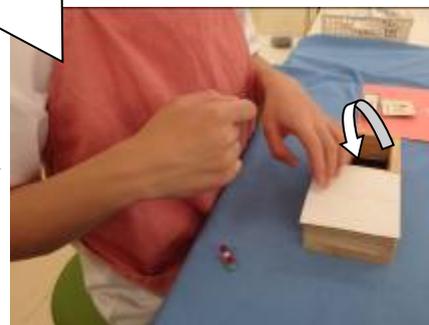
情報提供者	中学部 1年 1組 氏名 石橋あゆみ
-------	--------------------

教材・教具写真（規格：縦 約10cm×横 約20cm×高さ 約8cm）…どんな大きさでもいいと思います。

次のビーズを取る前に…



パタンッ！蓋をしてしまえば、違う色のビーズ
だけが出てくるのです！



1 教材・教具の説明

● ねらい

できるだけ一人で2色のビーズを交互に通していくことができる。

● 対象生徒

日常的かつ簡単な言葉（口頭）の指示が分かる。手順が理解できると、一人で遂行できる。ビーズ通しは比較的集中して「次々にビーズを通していく」ことを理解し、作業を進めることができるが、「今どっちの色を通したか」を記憶して「次は違う色のビーズを通す」ことが難しい。

2 その他

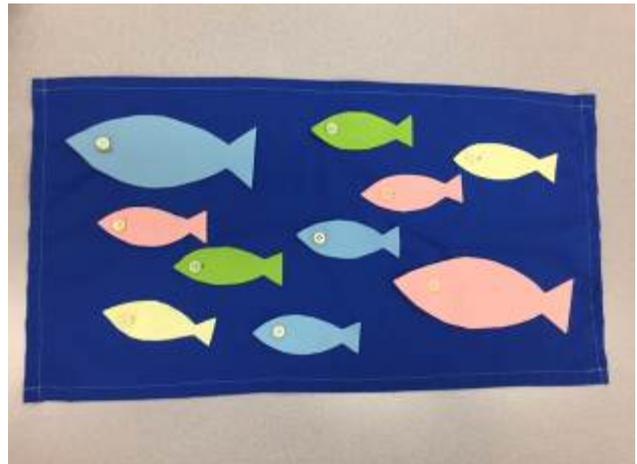
● 支援の効果

「今どっちの色を通したか」「次は違う色のビーズを通す」ということを考えながら作業を進めるとい指導をするのではなく、次に通すビーズだけが目の前に現れるような仕掛けを作りました。手順の中に「ビーズを通す」→「蓋を反対側へ倒す」→「出てきた方のビーズを取って通す」と組み込むことで、徐々に一人で2色のビーズ通しをすることができています。

教材・教具名	ボタン練習 (お魚・鳥)	教科・領域等	自立活動
--------	--------------	--------	------

情報提供者	中学部 1年 5組 氏名 村木 香織		
-------	--------------------	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 約28cm×横 約49cm)



1 教材・教具の説明

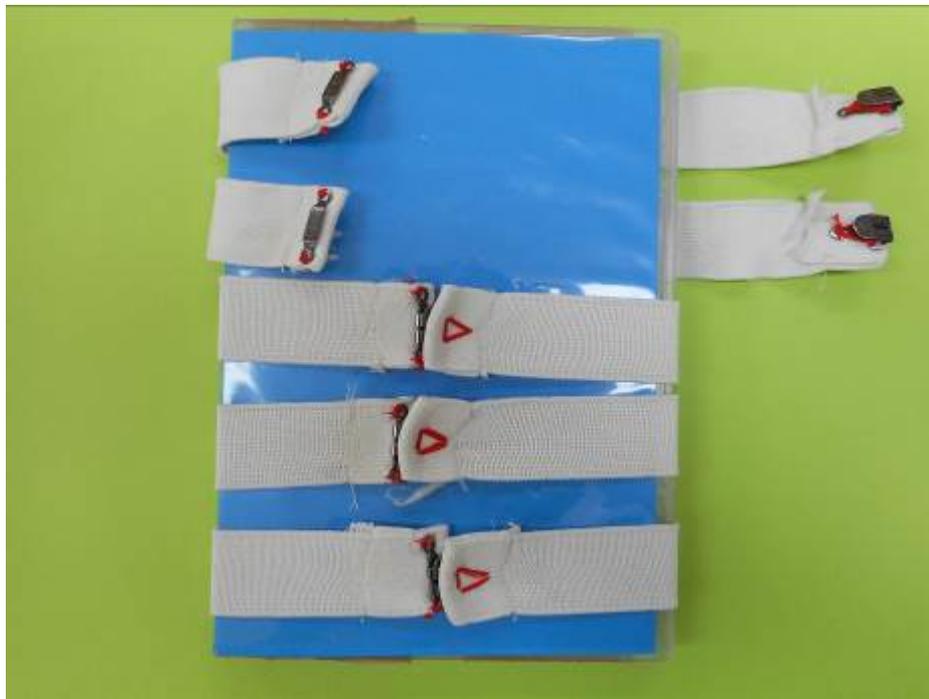
- ボタンの留外しの苦手な生徒が楽しみながらできるようになることを目的として作成した。
- フェルトを魚や鳥の形に切り、目になる所にボタンの穴を開け、繰り返し留外しをしている際に破れないように縁を刺繍糸でかがった。
- 背景の布は生徒が持ちやすいように薄い布にし、空や海をイメージして青で作った。
- 魚や鳥の数を10にし、数を数える活動にも結び付けられるようにした。
- カラフルな色で作成することで、色の名前を言う活動にも結び付けられるようにした。

2 その他

教材・教具名	ホック留め練習	教科・領域等	自立活動
--------	---------	--------	------

情報提供者 中学部3年5組 氏名 森岡 由美子

教材・教具写真 (規格:縦19cm×横13.5cm×高さ1cm)



1 教材・教具の説明

スカートのホック留めが難しい生徒が、集中して練習できるよう制作した教材。女生徒用に制作したが、手指の自立活動として様々な生徒に使用している。

上から、段階的にゴムのテンションの強さを変えており、徐々に、指に力を入れてゴムを引っ張らないとホックを留めることができないようになっている。三角の印は、持つ位置が分かりやすいように付けている。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	立位台	教科・領域等	自立
情報提供者	中学部 2 年 8 組 氏名 峠岡英俊		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>立位に困難さがある生徒、筋緊張のため脚が曲がってしまう生徒について、毎日定期的を使用することで、立つことに慣れ、足がまっすぐになる感覚を知ることができます。さらに、立つことの楽しさや視界の広がりを感じることができると思います。</p> <p>胸・腰・膝・足首の部分にベルトがあり、しっかりと固定することができます。また、足のかかとの部分がやや高くなっていて、足がずれないようにになっています。そして、生徒の様子によって、高さや角度を変えることができます。</p> <p>ただし、乗り降りの際、安全に配慮し、生徒が協力的であることや、教員等が2人で支援することなどが必要です。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	がんばりファイル	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年 10組 氏名 石原 望 日野一葉		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm) A4 ファイル 2冊		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>本生徒の大好きな子犬の画像を毎朝用意することで、教室に入ってまず席に着き、糊を出して台紙にその画像を貼り、ファイルに閉じることが、朝の日課として定着した。そこから朝の日課へとスムーズに入れるようになるとともに、宿題や授業で配布されたプリントをきちんとファイルに整理することができるようになった。</p> <p>また、トークン・エコノミー用ファイルについても、校外での野鳥の観察を好みに前日の下校後のポイントを加算し、前日分のポイントに見合った自分の好きなシールを貼ることで、本生徒が不安を感じる活動への参加や、その日一日の活動に向けてのモチベーションを高めるツールとして活用の幅が広がりつつある。</p>			
<p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	指先トレーニングセット	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年 2組	氏名	生駒久美子 中岡里美
教材・教具写真	(規格:縦 cm ×横 cm ×高さ cm)		
①		②	
③			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>朝の時間に3つの作業を交代制で行っています。</p> <p>①は折り鶴を継続して行っています。まず、大きな紙で折り方を確認し、徐々に小さな折り紙にチャレンジすることで指先の巧緻性を高めることを目的にしています。</p> <p>②はビーズの色分けをピンセットで行っています。ピンセットは先の曲がったものや尖っているものなど自分の使いやすいものを選びます。ピンセットでの細かい作業をすることで、道具の操作性を高めることを目的にしています。</p> <p>③は100円ショップのボルト・ナット・ワッシャーセットを使い作業しています。大きさの違うボルトに合うワッシャーとナットを探して締めることで、見る力と集中力、巧緻性の向上を目指しています。</p> <p>どの作業も指先の巧緻性を高めることと、作業をする集中力を高めることを目的に取り組ませています。</p> <p>2 その他</p> <p>自作の教具ではなく、既存の物を教材として利用しています。簡単に準備でき、とても便利です。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ウールのボールを弁別しよう	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 1年 9組 氏名 吉川 展生		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>色の違うウールのボールを見本通りの個数、色分けを行う。(箱詰め、袋詰め)</p> <p>慣れるまでは手で作業に取り組むが、出来るだけ箸、ピンセットなどの道具を使用して取り組めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目と手の供給操作の向上。 ・ 見る力の向上。 ・ 色の分別。 ・ 個数の理解。 ・ 袋の開閉。 ・ 箸、ピンセットなどの道具の使用。 ・ 丁寧な作業能力 ・ 作業時間の伸長。 ・ 集中力の向上。 などを目的としている。 <p>2 その他</p> <p>この活動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見本の通りに出来る生徒は8人中3人。 ・ 箸、ピンセットを使って作業できる生徒は上記の3人中の1人。 ・ 見本通りではないが、袋詰め、箱詰めが出来る生徒は8人中7人。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	踏み台くん	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年 11組 氏名 門田 由加里		
教材・教具写真 (規格:縦 32cm×横 20cm×高さ 4cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>自立活動で足のストレッチをするときに使用しています。</p> <p>これを使うことによって自分の体重でアキレス腱を伸ばすことができます。</p> <p>生徒はこの体勢でボールを受け取ったりして、楽しみながら付加を上げて運動しています。</p> <p>また、足をまっすぐに矯正する効果があります。</p>			
<p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ワークシステム	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年 8組	氏名 西健太郎 松田謙治 北川つむぎ	
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>自閉スペクトラムの生徒が自立課題を行う際に使用する、ワークシステムです。</p> <p>机の上に置かれた課題カードと、棚のカードをマッチングさせ自ら課題を取ってきて行えるようにシステム化しました。</p> <p>このワークシステムがあることで、一つ一つ教師が言葉で指示をしなくても理解し課題を進めることができます。</p> <p>ワークシステムの横には意思表示カードも合わせて置き、生徒から意思表示ができるようにしました。</p> <p>2 その他</p> <p>システムの形は、普段利用している放課後等デイサービスなどでの提示方法と同じものに統一しています。</p>			
参考文献・Web			

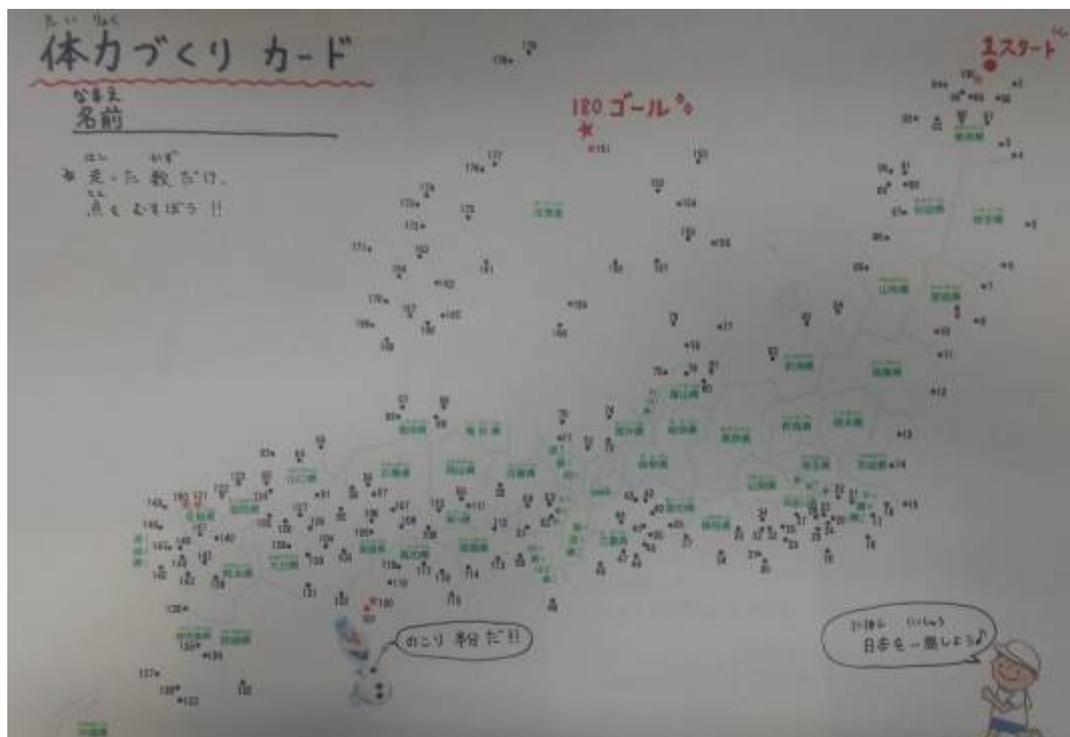
教材・教具名	マッチング課題	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 1年 8組 氏名 井上富美子・菊田正成・後藤真希		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○身の回りの道具や動物などを表し、絵と絵、絵と文字でマッチングをおこなう。マッチングボード、絵カード・文字カードともにラミネートをして強度を高めた。また、マジックテープを使用することで、はりやすく、少しの力でもはがすことができるようにした。</p> <p>○この活動は、集中力向上・手先の巧緻性の向上・注視する力の向上・目と手の協応をねらいとして作成した。</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して課題に取り組む姿を見ることができた。 ・バケツに雑巾がかかっている絵だったので、『雑巾』と『バケツ』がわかりにくいようだった。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	検定の取り組み	教科・領域等	流通サービス					
情報提供者	高等部 3年 A・B組 氏名 薄 秀行							
教材・教具写真 (規格:縦 <input type="text" value="cm"/> ×横 <input type="text" value="cm"/> ×高さ <input type="text" value="cm"/>)								
○がついたら次は消毒から。								
回	月	日・曜	見学記録			自分の目標 (開始までに記入して 先生に提示する)	自己評価	担当 教員 印
			試技者	試技内容	記録内容(チェックポイント)			
1	6月	23日 (火)	細内さ ん	水拭きモップ	モップの動きがジグザグだった。	モップをしっかり絞る。	モップを絞るときにしっかり力を入 れながら行っていたのでよく絞れ ていた。	薄
1		23日 (火)						
2	6月	30日 (火)						
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>清掃検定、食品加工検定、流通物流検定の取り組みの中で教師や生徒同士で評価することで、自分の苦手とする部分を発見するため、緊張感を保つために活用した。</p> <p>2 その他</p>								
参考文献・Web								

教材・教具名	ピクチャーカード・フラッシュカード	教科・領域等	英語
情報提供者	高等部 2年 8組	氏名	濱田 和江
教材・教具写真	(規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
ピクチャーカード (大)		手元のピクチャーカード (小) (裏には、英文のカタカナを 書いておく。)	フラッシュカード
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>「英語の自己紹介 (名前・職業・出身地)」(題材)</p> <p>①私の名前は～です。 マイ ネイム エズ ～ .</p> <p>②私は～です。 アイム ア ～ .</p> <p>③私は～からきました。 アイム フロム ～ .</p> <p>(言語材料)</p> <p>マイ ネイム エズ (オラフ).</p> <p>アイム ア (スノウマン).</p> <p>アイム フロム (アランデール).</p> <p>(1) ピクチャーカード (大) を見せながら、①マイ ネイム エズ ～ . を9枚の絵に合わせて名前を入れて繰り返す。全員で言わせたり、指名して言わせたりする。 フラッシュカードはホワイトボードに貼っておいて、教師が範読する際に指で指しながら確認する。</p> <p>(2) ①が定着してきたら、②アイム ア ～ ③アイム フロム ～ を同じように繰り返す。</p> <p>(3) 手元のピクチャーカードを配って、①②③が言えるように、時間をとって練習させる。 (STが一人一人を支援する。) 難しい生徒は、手元のカードの裏にカタカナで書いてある英文を読む。練習ができれば、一人一人手持ちのカードを見ながら発表する。</p> <p>(4) 最後に、自分自身の自己紹介を言えるように、練習して発表する。 (マイ ネイム エズ ○○. アイム ア スチューデント. アイム フロム ○○.)</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	「アナと雪の女王」「妖怪ウォッチ」「仮面ライダードライブ」「サザエさん」「くまもん」「ふなっしー」「アイカツ」		

教材・教具名	体力づくりカード	教科・領域等	体力づくり
情報提供者	中学部 3年 4組 氏名 山崎綾音		

教材・教具写真 (規格:縦 21cm×横 29.7cm×高さ 0cm)



1 教材・教具の説明

使用場面 体力づくりの時間 (グラウンドを一周走るごとに1つ点を結ぶ。)

対象生徒 ・ 身体を動かすことは好きだが、グラウンドを走るという単調な運動には意欲的に取り組むことが少ない。しかし、修学旅行では金比羅の琴平神社でお守りを買うことを目標にし、ゴールでまで1200段の階段を登りきった生徒である。
 ・ 小学校4年生程度の漢字は読め、身近な「広島県」「中国地方」などは理解している。

作成経緯 修学旅行の事前学習時に日本地図を使用したり、NHKのfor Schoolで配信されている都道府県クイズに積極的に取り組んだりした。学習を通して、日本に対する興味関心が高くなったことを生かし、修学旅行後も継続するために日本地図を活用し、体力づくり頑張りカードを作成した。

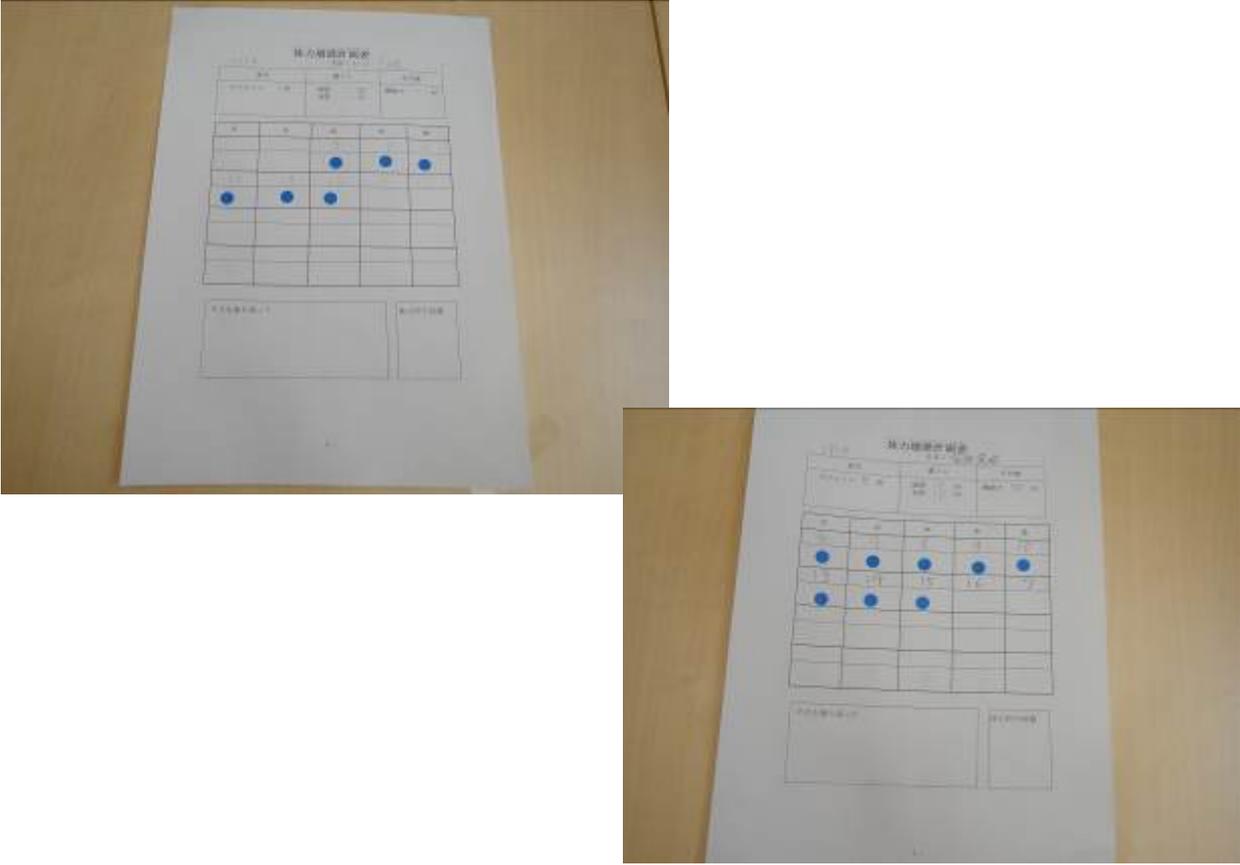
ねらい 日本に対する興味関心が高いことを生かし、体力づくりの時間に生徒が意欲的にグラウンドを走ること。

2 その他

使用した感想 日本地図に大きな興味を抱き、グラウンドを走る度に日本が点結びで完成していくことに喜びを感じ、意欲的に体力づくりに取り組むことができた。「今日どこまで行った？」の言葉掛けに、「〇〇県！」と嬉しそうに答えている。

参考文献・Web

ちびむすドリル <http://happyilac.net/sy-tizu-ten.html>

教材・教具名	体力づくりシート	教科・領域等	体力づくり
情報提供者	高等部 3年 1組 氏名 谷岡 典子		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力づくりでの目標を明確にするために掲示している。 ○ 毎月自分で振り返りをして、回数を自分で決めている。 ○ 帰りの会前の「日常生活の指導」の時間を使い取り組んでいる。 ○ 目標を達成できた日に自分でシールを貼ることで、意欲をもたせる。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日取り組むことで習慣になってきた。 ○ 体力づくりの必要性を理解して取り組むようになった。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	ハンガーラックを利用した衝立	教科・領域等	生活全般で使用
情報提供者	高等部1年 11組	氏名	辻村真帆美 間圭史

教材・教具写真 (規格：幅73cm×高さ60cm)



1 教材・教具の説明

3名の重複障害生徒が在籍する学級です。個別に支援する際、パーテーションが必要な場面が多々ありますが、手頃なものがなかなか見つからず、予算的にも今年度は難しいと言われ、困っていたところに思いついたのがこれです。

学級にあった可動式（ころが付いた）ハンガーラックに、以前保護者から、美術で使ってくださいと寄付いただいた布を縫製してかぶせました。布も、優しい色の落ち着けるグリーンにしました。

可動式なので、作業学習場所にも持って行って必要に応じて使用しています。少々倒れそうになっても布製で軽いので安全です。ハンガーラックとして使用したいときは、布をはずせばOKです。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	ピクチャーレールの活用① 教室改善(掲示板)	教科・領域等	
情報提供者	高等部 1年13組	氏名	井脇由美子 小川雅彦
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
Before		After	
1 教材・教具の説明			
【目的】			
教室内の掲示板は磁石クリップが落下するほど磁力が弱い。ピクチャーレールを活用し、取り付けたボタンを利用することで改善した。			
【作業手順】			
<ol style="list-style-type: none"> 1 ピクチャーレールから紐(70cm程度)3本を約45cm間隔にぶら下げる。 2 紐に丸棒を結ぶ。 3 クリップ・フック等を取り付ける。 			
【製作時間】 約10分			
2 その他			
【材料】(税抜き)			
丸棒 12φ×910mm	128円		
紐 3m	100円		
クリップ・フック	各100円		
参考文献・Web			